



KAZAKHSTAN

ASTANA・ALMATY STYLE

JETRO ビジュアルで見る世界の都市と消費市場

アスタナ・アルマトイスタイル



JETRO



Welcome to
ASTANA &
ALMATY

CONTENTS

OVERVIEW

- 07 カザフスタンの概要
- 08 カザフスタンの地理
- 09 カザフスタンのインフラ整備状況
カザフスタンのインターネット状況
- 10 カザフスタンの経済
- 11 カザフスタンの乗用車市場
- 12 アスタナの概要
- 13 アスタナマップ
- 14 アルマトイの概要
- 15 アルマトイマップ

COMMERCE

- 17 Astana Expo 2017
財政
- 18 貿易
- 19 消費力
- 20 小売市場
地域密着型の小売業
- 21 大手食品小売チェーン店
- 22 商業施設
アスタナの主要商業施設
アルマトイの主要商業施設
- 23 観光市場

FASHION

- 25 ファッション市場
ファッションイベント
- 26 アパレル産業の小売業
代表的な外国ファッションブランド
代表的な国内ファッションブランド
- 27 カザフスタン街角ファッションチェック
- 28 カザフスタンファッショントーク
(アスタナ・アルマトイ)
- 30 ファッション情報
美容院市場
- 31 コスメ・美容市場

FOOD

- 33 食事情
食案内
- 34 食品市場
- 36 キッチン拝見
- 38 レストラン市場
アスタナ、アルマトイの国内資本レストラン
外国資本レストラン

LIVING

- 41 建設市場
住宅市場
- 42 マイホーム
- 44 余暇の過ごし方
ブライダル産業
- 45 ビジネスライフとキャリア
- 46 教育
富裕層専用サービス
- 47 健康
老人介護

BUSINESS

- 49 外国資本の起業、法整備等
- 51 日系企業の最新動向
日系企業の活動範囲はアスタナ、アルマトイが中心
- 52 アスタナで働く日本人の生活環境
アルマトイで働く日本人の生活環境
- 53 アスタナ・アルマトイ共通の生活環境
- 54 カザフスタン進出日系企業・現地企業インタビュー
荒川宣之さん
豊田通商株式会社アルマトイ事務所長
- 56 吉田行男さん
東海運株式会社アルマトイ駐在事務所長
- 58 今用雄二さん
Imayo Creation 代表取締役社長 / 建築家
- 60 岸上大輔さん
日本食カフェ・MOMO オーナー

はじめに

ユーラシア大陸の中央に位置するカザフスタン。1991年のソ連崩壊とともに独立した若い国だ。北はロシアと長い国境を接し、東は中国、南はウズベキスタンなどの中央アジア諸国に囲まれた内陸国である。国土の広さは日本の8倍、世界でも9位の面積を誇る広大な土地に1,700万あまりの人が暮らす。長い間遊牧を営んできたカザフ人が人口の6割を占めるほか、ロシア人やウイグル人、タタール人、朝鮮人なども共存する多民族国家でもある。

独立以来、ナザルバエフ大統領の強力なリーダーシップのもと、国づくりが進められてきた。カスピ海周辺の石油・天然ガスをはじめ、ウラン、レアメタル、レアアースなどの豊富な地下資源に恵まれている。欧米オイルメジャーの投資と資源価格の高騰により、一人当たりGDPが1万米ドルを超える経済成長を達成。中央アジアではもっとも市場経済化が進んだ。しかし、国際経済の枠組みに組み込まれた結果、世界経済の潮流に翻弄されてもきた。



1997年、アルマトイからアスタナへ遷都が行われた。見渡す限り広がるカザフステップに突如として現れる近代都市がアスタナだ。日本の建築家故黒川紀章氏による都市計画のマスタープランに基づき、テーマパークさながらの奇抜なデザインの建築物が覇を競う。一方、南の首都とも言われるのが、天山山脈の支脈に広がるアルマトイである。ソ連時代から首都として栄え、今でも商業、文化、教育の中心として存在感はゆるぎない。

カザフ人と日本人とは顔や容姿が似通い、遊牧

民特有の客を歓待する習慣は日本のおもてなしにも通じると、カザフスタンを知る日本人は異口同音に指摘する。しかし、観光やビジネスなどを通じて実際にこの地を訪れる人はまだ多くないだろう。2017年のアスタナ博覧会をきっかけに、関心が高まるものと期待される。本冊子が知られざるカザフスタンの横顔を紹介する一助となれば幸いである。

2017年2月

ジェトロ・タシケント事務所



ASTANA & ALMATY STYLE OVERVIEW



カザフスタンの概要



アスタナのサルヤルカ通り

© Alex_Alekseev / Shutterstock, Inc.

正式名称

カザフスタン共和国 (Republic of Kazakhstan)

面積

272 万 4,900km² (2016 年)

人口

1,767 万人 (2016 年)

首都

アスタナ (人口: 87 万 2,600 人 / 2016 年初)

主な宗教

イスラム教 (70%)、キリスト教 (26%) など

主な言語

カザフ語、ロシア語など

民族

カザフ人、ロシア人、ウズベク人、ウクライナ人、ウイグル人、タタール人、ドイツ人など

通貨

テンゲ Tenge
(1米ドル = 311.5テンゲ / 2017年2月末現在)

歴史

1991年12月16日、ソビエト社会主義共和国連邦から独立。
1997年12月10日、首都をアルマトイからアクモラ (1998年5月6日アスタナへ改名) へ遷都。



© Veniamin Kraskov / Shutterstock.com



© Mehmet O. / Shutterstock, Inc.

政治体制

共和制

議会制度

二院制（上院セナート 47名／任期6年、下院マジリス107名／任期5年）

国家元首

ヌルスルタン・ナザルバエフ大統領（1990年～）

内閣首班

バクイトジャン・サギンタエフ（2016年9月～）
2016年11月現在

名目GDP

40兆8,841億3,360万テンゲ
（＝1,843億8,700万米ドル：2015年）

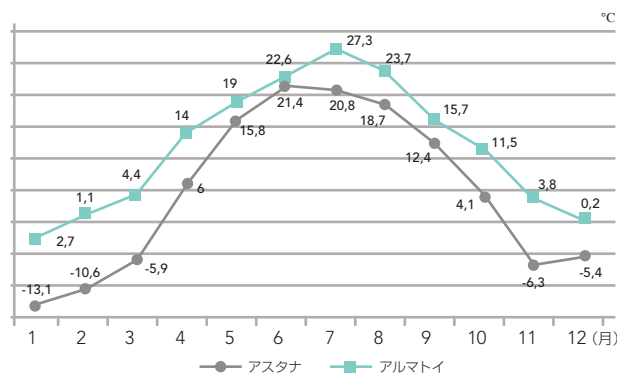
主な産業

石油、石炭、鉄鉱石、金・銅及び非鉄金属の採掘、ウラン、鉄鋼

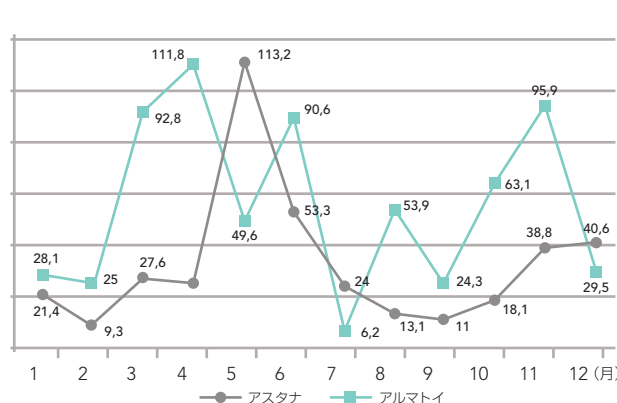
気候

半乾燥大陸性気候帯に属し、気温は南北差が大きい。南部は一年を通じて暑い気候だが、北部は-30℃にも達する寒い冬と、30℃ほどになる暑く乾燥する夏とがある。春と秋は多雨である。

気温（アスタナ、アルマトイ）



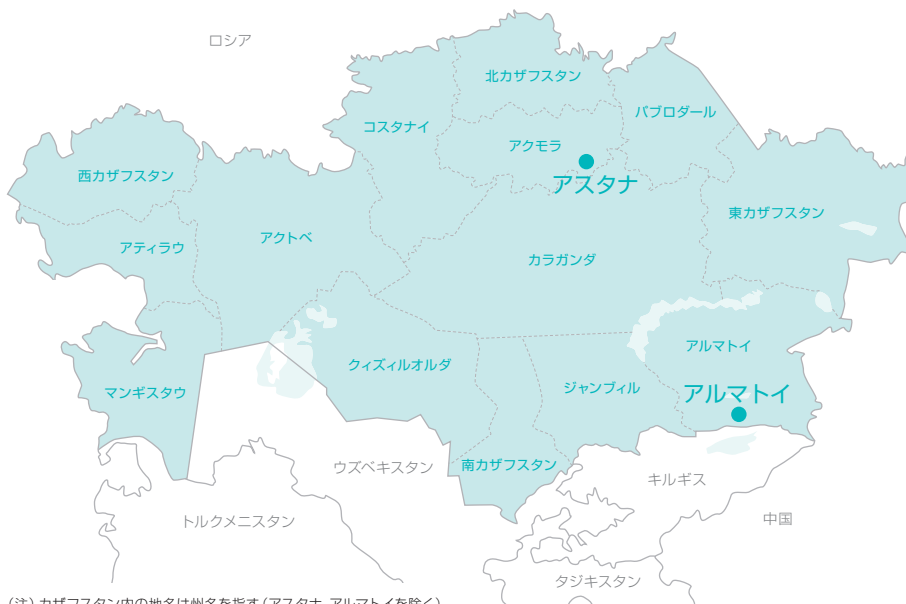
降水量（アスタナ、アルマトイ）



出所：今日のカザフスタン 2016

カザフスタンの地理

ユーラシア大陸深くに位置し、ロシア、中国、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタンと国境を接する内陸国。面積は世界9位、国土の44%を砂漠、14%を半砂漠、26%をステップが占める。首都アスタナは乾燥ステップ地帯にある。



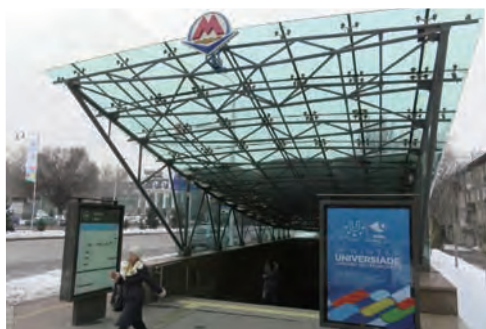
（注）カザフスタン内の地名は州名を指す（アスタナ、アルマトイを除く）。

カザフスタンのインフラ整備状況

電気・ガス・水道、鉄道、道路等の基礎的インフラはソ連時代に一通り整備されているが老朽化が進み更新や新規導入が必要となっている。

地下鉄

アルマトイの地下鉄は、中央アジアではウズベキスタンのタシケント地下鉄に次ぐ2番目の地下鉄路線である。アスタナの地下鉄は現在計画中。



アルマトイの地下鉄入り口



Baikonur 駅構内

アルマトイ 地下鉄路線図

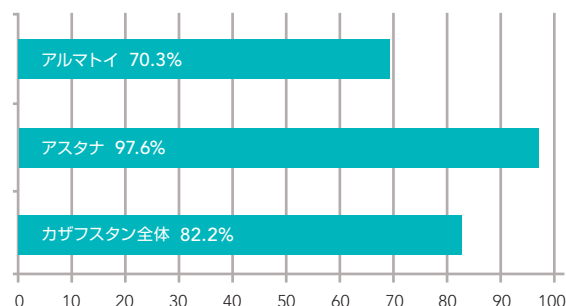


カザフスタンのインターネット状況



カザフスタンのインターネットは ADSL が普及している。市内のショッピングモールやカフェでは無料 Wi-Fi が使用可能だ。モバイル Wi-Fi ルーターも市販されている。

インターネット接続機器保有世帯



(注) 携帯電話を含む
出所: カザフスタンの情報技術発展 2011-15

カザフスタンの経済



マンギスタウ州にあるジャナオゼン油田

1991年に旧ソ連から独立して以降、ロシア金融危機やリーマン・ショックなどの影響を受けつつも、おおむね順調な経済成長を続けてきた。GDPの前年比伸び率は2008年、2009年を除き2000年代は10%前後、2010年～2014年も4%～7%台で推移した。しかし2015年、2016年は、資源価格の低迷やロシアをはじめとする世界経済不振の影響を受け1%台に留まった。厳しい経済環境の中、昨今は資源に依存しない産業構造への転換を目指し、外資や観光誘致のため対外関係強化の努力を重ねている。2015年には1996年から交渉を続けてきたWTOへの正式加盟を果たした。

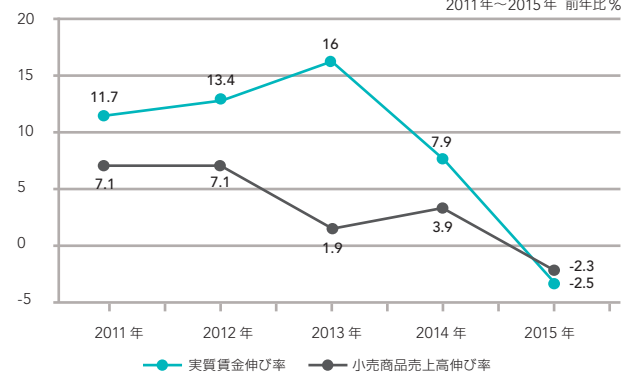


イメージ写真

消費動向

実質賃金と小売商品売上高伸び率

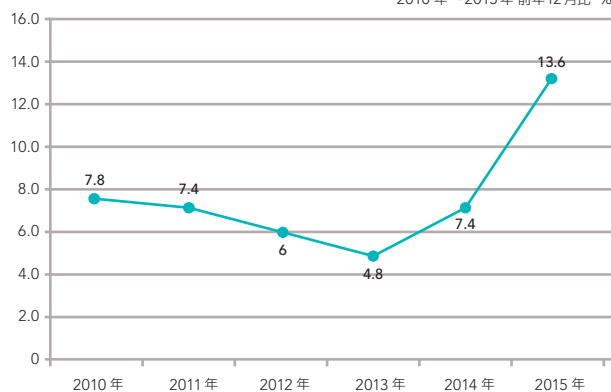
2011年～2015年 前年比 %



出所：カザフスタン統計年鑑 2015

消費者物価指数

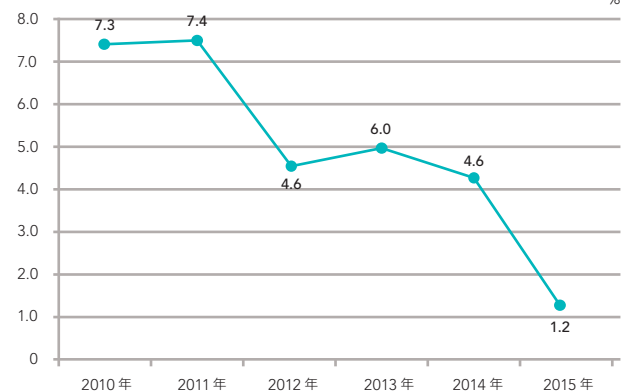
2010年～2015年 前年12月比 %



出所：カザフスタン統計委員会

実質GDP伸び率

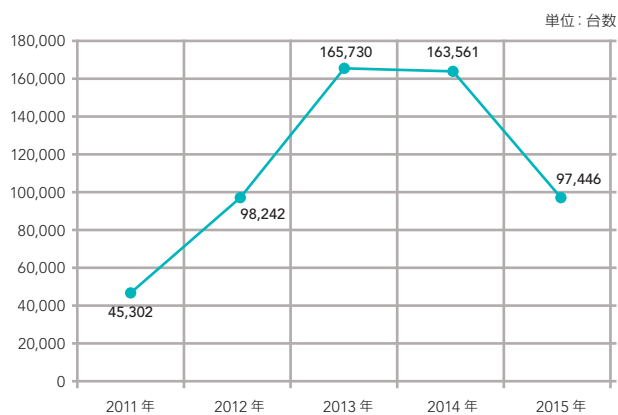
%



出所：カザフスタン統計委員会

カザフスタンの乗用車市場

乗用車新車販売台数



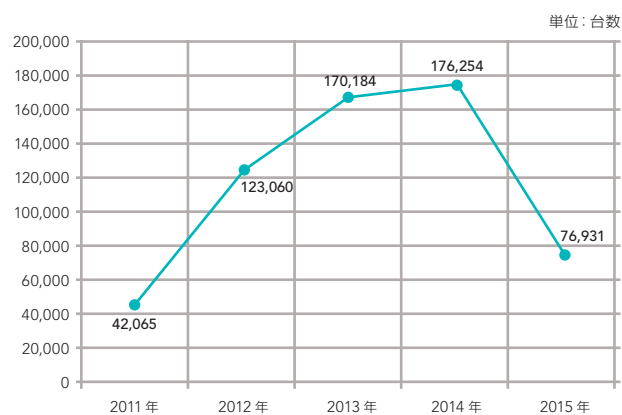
出所：カザフスタン自動車ビジネス協会



イメージ写真

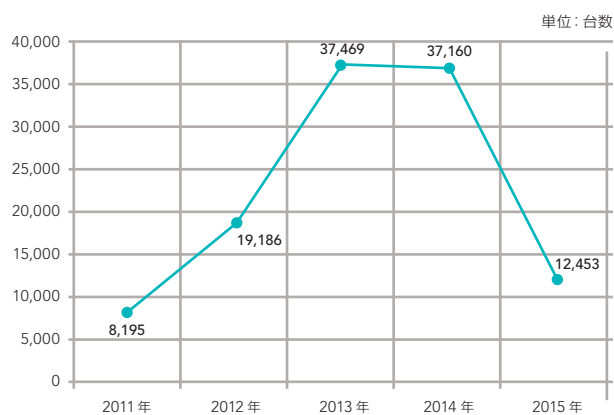
©ChameleonsEye / Shutterstock, Inc.

乗用車輸入台数



出所：カザフスタンの輸送

乗用車生産台数



出所：カザフスタンの輸送



イメージ写真

アスタナの概要



アスタナを流れるイシム川



面積

722km²

標高

347m

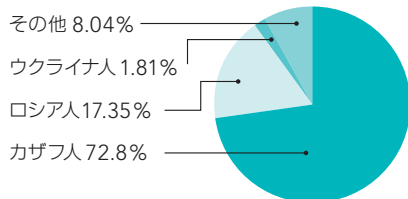
人口

100万人 (2016年7月)

人口密度

1,384.7人/km²

民族構成



歴史

1991年、カザフスタンが独立を果たすと、「聖地」を意味するアクモラと改名される。1997年に遷都が行われ、翌年にはカザフ語で首都を意味するアスタナに改名された。

気候

1年の半分以上が氷点下であり、年間平均気温は3.5度。最暖月7月の平均気温は20.8度とあまり高くないが、日中は平均で26.8度まで上がり、時に40度近くに達することもある。

アスタナの魅力

1997年に遷都されて以来、次々と新しい建造物が建設され、世界でも類を見ない成長を続ける都市。遷都の理由は、アスタナがカザフスタンの中心にあり、かつヨーロッパやロシアに近いからだと言われる。そのため近隣国へのビジネス拡大や、ロシア・CIS商圏を視野に入れたビジネスの可能性も感じさせる。また、巨大ショッピングモールやモニュメントには目を見張る。

観光ポイント

出所：在カザフスタン日本国大使館

アスタナ中心部を南東から北西へと流れるイシム川の左岸（新市街）と右岸（旧市街）に大きく分けられる。

バイテレク



英国人建築家ノーマン・フォスター設計による、アスタナのシンボルタワー。バイテレクとはカザフ語で“ポプラ”を意味する。聖なる鷲サムルークが「生命の木」バイテレクに黄金の卵を産み落とす、というカザフの神話に基づいてデザ

平和と調和の宮殿

通称“ピラミッド”。英国人建築家ノーマン・フォスターによる設計で2006年に建設された。宗教学と信仰維持のためのセンターと位置付けられている。内部には画廊やコンサートホール、上層部にはエジプト考古学のレプリカやカザフスタンに住む各民族の衣装が展示されている。



アルマトイの概要



© Alexey_Arz / Shutterstock, Inc.

オフィス街近くの公園



© Alexey_Arz / Shutterstock, Inc.

広大な山の麓に広がるアルマトイ



アルマトイ全景

面積

324.8km²

標高

500～1,700m

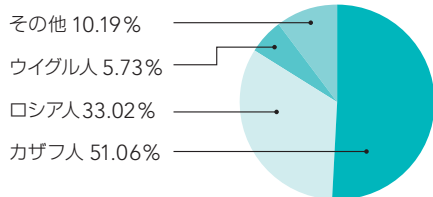
人口

153万9,000人(2014年)

人口密度

3,776人／km²

民族構成



歴史

1991年、アルマ・アタは旧ソビエト連邦から独立したカザフスタン共和国の首都に定められる。1993年にアルマトイに名称を統一。1997年に遷都が行われるまで首都として機能する。

気候

大陸性で夏は暑く冬は寒い。1月の平均気温は-4.7度、7月の平均気温は23.8度。標高600～1,200mに市街地が広がるため、気温、気候などに違いがある。

アルマトイの魅力

アスタナに遷都されるまで、カザフスタンの首都として長く栄えた。アスタナほど寒暖差も激しくなく自然豊かで美しい。豊かな自然を生かし夏はリゾート地として、冬はスキー場として観光産業にも力を入れる。キルギスや中国にも近く、アジアやヨーロッパへの物流の拠点の一つでもある。

観光ポイント

アルマトイには歴史的な建造物の遺跡は存在しないが、中心部にはオフィス、銀行、ホテル、ショッピングモール、カフェ、映画館といった新しい建築物が建つ。

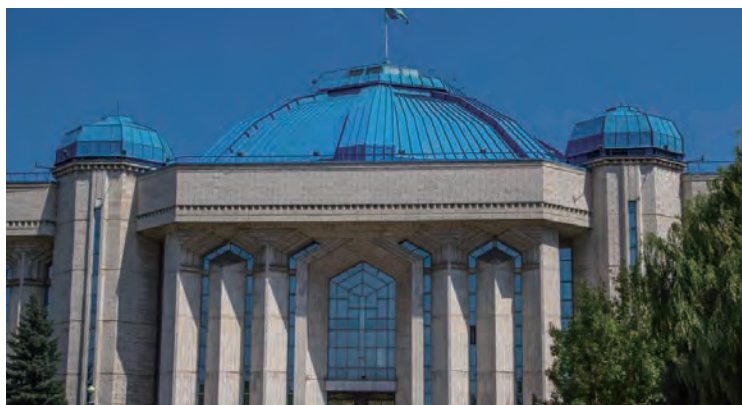
■ メデウスケートリンク

標高1,691mの高地にある。スケートリンク上の標高2,200mには、スキーリフトを使えばさらに標高3,200mまで行けるシムブラック・スキー場がある。



■ 国立中央博物館

カザフスタンの歴史を扱う博物館。約9万点の展示物を所蔵する。イシク古墳から出土した「黄金人間」のレプリカ、石人などが展示されている。



© Kudryashova Alla / Shutterstock, Inc.

アルマトイマップ





ASTANA & ALMATY STYLE
COMMERCE

Astana Expo 2017



©freedart / Shutterstock, Inc.

2012年、161カ国によるメンバー投票で103票を獲得したアスタナは、2017年に開催される国際博覧会都市に見事選ばれた。中央アジア初の国際博覧会開催地となるアスタナで、100カ国を超える国々が「FUTURE ENERGY(未来のエネルギー)」をテーマに一堂に会することになる。今回の国際博覧会を機に、カザフスタンの経済はグリーン経済(環境に優しい経済)へ移行する計画だ。これによりグリーンプロジェクトへの投資増加、それに伴う中小企業の発展やビジネス開発など、アスタナはもちろんカザフスタン全体に社会・経済的恩恵をもたらすと期待されている。

現在、アスタナ国際博覧会は113ヘクタールの広大な敷地にパビリオンなどを建設している。そのうち25ヘクタールが博覧会施設、残る土地には「2017年国際博覧会都市」が建設される。科学技術および文化の中心地を目指す「2017年国際博覧会都市」は、居住、商業、ビジネス、社会インフラが整備されたカザフスタン最先端の都市となる予定だ。この国際博覧会および関連イベントへの来場者数は500万人と予測されており、カザフス

タンの観光市場にも大きな影響をもたらすと考えられている。

開催決定時、アスタナの正式登録ホテル数は75軒だった。150室以上の部屋数がある大規模なホテルは4軒のみで、多くのホテルは4室から30室の部屋数にとどまっていた。しかし最近では宿泊施設数も増加傾向にあり、現在の正式登録ホテル数は160軒と約2倍になった。開催時までにはさらに増築予定で、アスタナ国際博覧会を念頭においた投資が集中している。

出所: Hospitality Snapshot, Q1 2016, Cushman Wakefield

アスタナ国際博覧会

2017年6月10日から9月10日までの3カ月間にわたり開催。115カ国と18国際機関の参加が予定される。豊富な鉱物資源を有するカザフスタンでの開催は、CO₂排出削減や省エネルギーの活用等、エネルギー問題や解決策を考える機会となると期待されている。

財政



2015年の国内総生産(GDP)は1,843億7,000米ドルで、2001年の約222億米ドルから8倍に増加している。同年の国内消費額は、942億7,000米ドルにおよんだ。また平均所得67,321テンゲを下回る低収入層の割合も減少している。低収入層の割合は2001年は46.7%だったが、2015年には2.7%まで後退した。一方で、2014年中頃から経済成長は停滞し始めている。2014年の経済成長率は4.1%だったが、2015年には1.2%にまで下落した。経済成長停滞の理由は石油価格の下落や、中国およびロシアからのプロジェクトの減少等が考えられている。

出所: Euromonitor, World Bank

貿易



カザフスタンの主要貿易国はCIS諸国とドイツ、オランダ、トルコ、スイスなどが挙げられる。2015年の貿易量は759億米ドルで、そのうち457億米ドルは輸出、302億米ドルは輸入だった。輸出の70%は原料である一方、輸入の93%は加工品である。カザフスタン最大の輸入相手国は102.3億米ドルのロシアで、輸入内容は鉱物、金属、化学物質、建築材料などである。最大の輸出相手国は81.4億米ドルのイタリアで、輸出内容の99%が石油である。

日本との貿易においては、2015年の輸出は8億5,900万米ドル、輸入は5億8,500万米ドルだった。日本にとっては中央アジア最大の貿易国である。主な輸出品は金属製品と石油などで、輸入品は鉄鋼や自動車、機械類が中心である。また2015年10月には、日本とカザフスタンの間で核エネルギー、投資、交通など14分野における事業協力契約の合意がなされ、二国間の関係のさらなる発展が期待されている。

出所：カザフスタン統計委員会

カザフスタン貿易指標 (2015年)
(単位:10億米ドル)

貿易額	75.9
輸出	45.7
輸入	30.2
収支	15.5

出所：KAZNEX INVEST

カザフスタン貿易内訳 (2015年)
(単位:10億米ドル)

輸出		輸入	
原料	31.9	原料	2.1
加工品	13.8	加工品	28.1

出所：KAZNEX INVEST

カザフスタン貿易国別内訳 (2015年)
(単位:100万米ドル)

国名	輸出	輸入
ロシア	4,343	10,232
中国	5,483	5,082
ドイツ	343	1,985
米国	434	1,410
イタリア	8,137	1,174
ウクライナ	1,176	827
トルコ	1,276	741
フランス	2,681	670
オランダ	4,980	313
スペイン	1,219	219
スイス	2,659	129
ギリシャ	1,259	19

出所：カザフスタン統計委員会

カザフスタンの対日本貿易

日本への輸出 (単位:1,000米ドル)

	2012年	2013年	2014年	2015年	%
鉄鋼・銅製品	1,142,992	510,926	504,061	487,490	57
燃料	—	108,543	208,059	360,692	42
化学品	3,241	7,989	28,659	10,135	1
雑品	72	51	88	101	0
電化製品	41	232	139	98	0
野菜	13	9	1	36	0
木材	10	1	1	—	0
衣料品	—	1	1	—	0
運送	2	—	5	—	0
食品	2	—	2	—	0
鉱物	—	—	14	—	0

日本からの輸入 (単位:1,000米ドル)

	2012年	2013年	2014年	2015年	%
鉄鋼・銅製品	66,113	152,482	101,381	192,009	33
電化製品	172,811	187,663	156,778	185,605	32
運送	548,304	608,238	517,385	128,423	22
雑品	48,702	49,262	51,775	33,777	6
プラスチック・ゴム	44,808	50,045	33,986	12,999	2
衣料品	4,954	5,934	5,223	10,248	2
化学品	12,568	15,886	44,513	8,778	2
木材	3,593	5,227	9,114	8,296	1
燃料	1,717	1,944	2,912	3,327	1
その他	1,278	1,771	1,704	1,251	0

出所：World Integrated Trade Solution

消費力



1998年の遷都以降、急速に発展するアスタナと、最大の商業地であるアルマトイ。このカザフスタン2大都市の2015年の一人あたりの平均収入は、国全体の平均値の約2倍となっている。収入の多さに比例し、支出も平均値を上回る。

一人当たりの平均収入 (単位: テンゲ)				
	2012年	2013年	2014年	2015年
カザフスタン全体	51,860	56,453	62,271	67,321
アスタナ	85,080	92,605	109,866	128,956
アルマトイ	86,733	95,095	104,832	111,530

一世帯の毎月の支出 (単位: テンゲ)				
	2012年	2013年	2014年	2015年
カザフスタン全体	31,886	34,796	37,131	38,502
アスタナ	41,011	44,014	46,450	48,887
アルマトイ	49,375	53,580	58,213	60,882

域内総生産 (単位: テンゲ)			
	2011年	2012年	2013年
カザフスタン全体	27,571,889	30,346,958	35,275,153
アスタナ	2,090,987	2,582,856	3,484,793
アルマトイ	4,896,311	5,730,006	7,152,426

アスタナの主要経済指標 (単位: 10 億米ドル)					
	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
固定資本投資	2.7	3.9	4.1	3.6	3.6
産業生産	0.8	1.2	1.4	1.8	1.9
農業生産	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
輸出	4.3	6.3	7.8	5.0	5.1
輸入	2.7	2.9	4.0	4.6	4.7

アルマトイの主要経済指標 (単位: 10 億米ドル)					
	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
固定資本投資	2.7	2.8	3.1	3.2	2.9
産業生産	2.9	3.6	3.9	4.2	4.1
農業生産	0.01	0.01	0.005	0.004	0.01
輸出	4.9	6.2	6.1	4.7	5.1
輸入	12.4	16.0	20.8	22.6	17.3

出所: カザフスタン統計委員会

(1米ドル = 311.5 テンゲ。2017年2月末現在)

小売市場

2013年、消費ブームを迎えたカザフスタンの小売業全体の売り上げは、10%近い増加を見せた。小売売上高の半分以上は、アスタナとアルマトイの2大都市が占めている。カザフスタンは2016年世界小売開発指数第4位にランクインし、外国企業からも有力市場の1つとして注目されている。現在は、およそ450社におよぶ外国小売業がカザフスタンで事業展開している。多くの外国企業が市場参入に対し前向きであることを踏まえ、政府は投資家と外国企業間の橋渡しの役割を担う

投資誘致機関を設立した。現在は家具量販店のイケアや、老舗サーフィンブランドのオーシャンなどが市場参入に向けて交渉を続けている。

活発な動きをみせるカザフスタンの小売市場ではあるが、経済成長停滞の影響も見られる。例えば、ファッション市場では購買客数に変動はないものの平均購買量は減少しているという。

出所：KAZNEX INVEST

世界小売開発指数（2016年）

	国	市場 魅力度	カントリー リスク	市場 飽和度	参入 緊急度	GRDI (グローバル 小売成長指数)	人口 (単位:百万人)	国内総生産 1人当たり 購買力平価 (単位:米ドル)	全国 小売販売 (単位: 10億米ドル)
1位	中国	100.0	61.2	36.2	92.5	72.5	1372	14,190	3,046
2位	インド	53.7	54.3	75.8	100.0	71.0	1314	6,209	1,009
3位	マレーシア	81.2	83.4	23.5	50.4	59.6	31	26,141	93
4位	カザフスタン	56.4	37.3	61.9	70.2	56.5	18	24,346	48
5位	インドネシア	64.3	38.9	50.2	68.9	55.6	256	11,112	324
6位	トルコ	85.9	46.4	31.9	53.1	54.3	78	20,277	241
7位	アラブ首長国連邦	95.2	100.0	1.3	18.0	53.6	10	66,997	69
8位	サウジアラビア	91.2	64.9	21.3	31.5	52.2	32	53,565	109
9位	ペルー	47.3	52.8	50.4	57.2	51.9	31	12,077	70
10位	アゼルバイジャン	33.9	30.8	80.9	59.3	51.2	10	18,512	17

出所：A.T. Kearney

	小売業売上（2016年1月）（単位：100万テンゲ）	卸売業売上高（2016年1月）（単位：100万テンゲ）
カザフスタン	492,774	1,037,599
アスタナ	54,552	227,193
アルマトイ	153,754	534,767

出所：カザフスタン統計委員会

地域密着型の小売業



© Mehmet O. / Shutterstock, Inc.

カザフスタンのバザール

日々の必需品は、住まいの近くにある小さい商店で済ませる人が多い。大手スーパーマーケットのような品揃えはなくとも基本的必需品が揃っており、日常生活にはなくてはならない存在である。バザールも同様で、肉、果物、野菜、乳製品など毎日の食卓に欠かすことのできない食材を新鮮で安価に入手することができるため、利用者の数は昔と変わらない。

地元密着型 小売店の売り上げ (単位：10億テンゲ)	2013年	2014年	2015年
合計	5,474	6,332	6,555
食品	1,387	1,606	1,603
アルコール飲料	1,62	155	212
たばこ製品	59	58	71
非食糧品	3,864	4,511	4,668

出所：カザフスタン経済省、カザフスタン統計委員会

大手食品小売チェーン店

マグナム

2007年にオープン。2014年の売上高は622億テンゲに達した。系列店のマグナムキャッシュ & キャリーは24時間営業。カザフスタン全域で8店舗を展開する。



ラムストア

1998年にオープン。現在はカザフスタン全域でショッピングセンター1店舗、ハイパーマーケット4店舗、スーパーマーケット21店舗、マクロセンター2店舗を展開する。



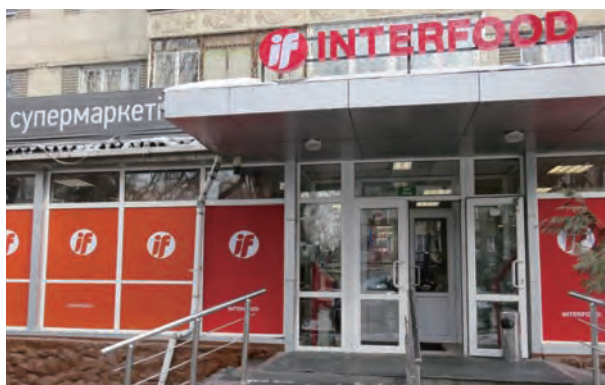
スモール

1997年にオープン。現在はカザフスタン全域で49店舗を展開。年中無休、24時間営業。「もっとも身近な商店」として利用者は多い。



インターフード

高品質のグルメ商品を提供するマーケットとして1996年にオープン。オランダ産チーズ、スイスやベルギー製のチョコレートなど、味にこだわる利用者が多い。



カルフルー

2016年にオープン。今後10年以内にさらに6店舗オープンすることを計画している。



メトロキャッシュ&キャリー

2009年にオープン。現在は、カザフスタン全域で8店舗を展開する。



商業施設

アスタナとアルマトイは、長年にわたり継続的成長を見せるカザフスタンの主要小売業都市である。昨今の経済・政情不安のあおりを受けているとはいえ、増加し続ける小売売上高や低失業率、高生活水準、人口増加など、小売業者にとってこの2都市の強みは健在だ。

※上級社会経済クラス(A)：マンションや戸建てを購入可能な経済状況 中上級社会経済クラス(B)：マンションや戸建て以外の全てを購入できる経済状況 中級社会経済クラス(C1)：家庭内必需品は購入できるが乗用車購入には至らない経済状況

アスタナの主要商業施設 (P13 地図参照)

ハン・シャティール

客層：上級社会経済クラス (A)

有名建築家ノーマン・フォスター設計のショッピングセンター。
国内・外国の高級有名ブランド店が揃う。



ケルエン

客層：上級社会経済クラス (A)

高級スーパーマーケットのガルマートや、ティファニー、ヒューゴボス、マックスマラー、ダンヒルドの外国高級ブランド店が並ぶ。



メガアスタナ

客層：中級社会経済クラス (C1)

34,500m²に及ぶ新開発エリアにハイパーマーケット、映画館などの他、ファストフード店を含む87店舗がある。



アジアパーク

客層：中級社会経済クラス (C1)

45,000m²の敷地に5つの映画館、子供用プレイルーム、フィットネスクラブの他、ファストフード店を含む168店舗がある。



アルマトイの主要商業施設 (P15 地図参照)

ツム - ゴーゴリ通り

客層：中級社会経済クラス (C1)

小売業エリアの1つであるゴールデン・スクエアのメイン通り。
ベネトン、ギャップ、ザラ、ロレックスなどの店舗が並ぶ。



バラホルカ

客層：中級社会経済クラス (C1)

数千ヘクタールに何百ものコンテナが並ぶ巨大卸売スーパーマーケット。幅広い商品が取り揃えられている。



エセンタイ・モール

客層：上級社会経済クラス(A)、中上級社会経済クラス(B)
6階建ての新しいショッピングセンター。ルイ・ヴィトン、グッチ、プラダ、バーバリー、モスキーノなどの外国高級ブランド店が並ぶ。

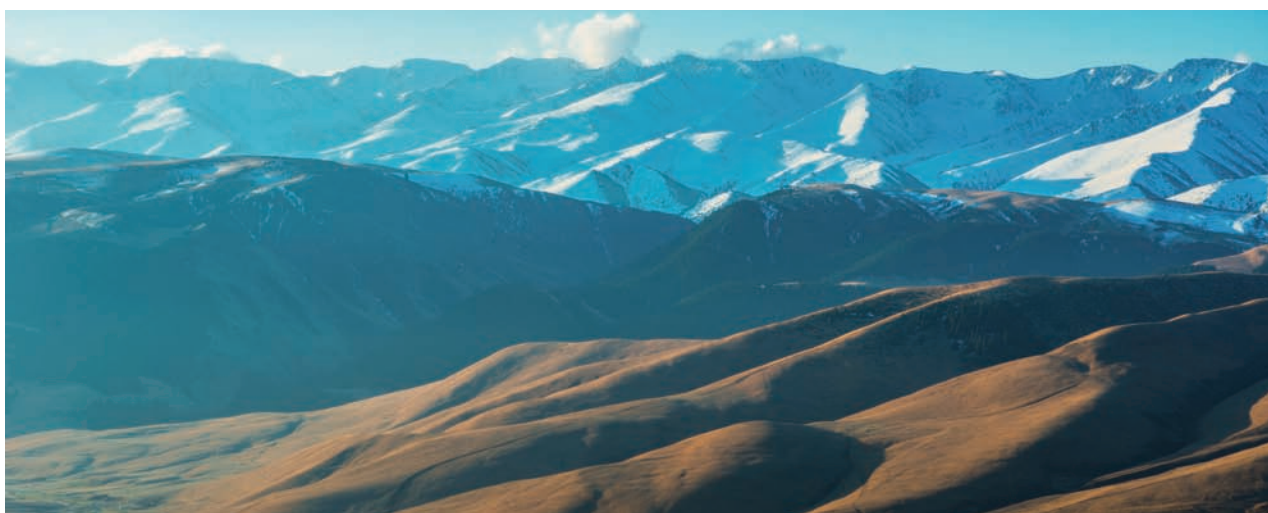


エーポート

客層：中級社会経済クラス(C1)
アルマトイ西部にあるショッピングセンター。ニューヨーカー、クラークス、マンゴ、コットンなどの店舗が並ぶ。



観光市場



世界で9番目に広大な土地面積をもつカザフスタンには、文化遺産や自然遺産などの観光名所がある。現在、15の国際空港を含む25の空港があり、2013年の観光客数は11%増の4,900万人に達するなど、観光市場は成長の一途を辿っている。カザフスタン入国の85%がウズベキスタン、キルギス、ロシアからの渡航者だ。

観光業がGDP内に占める割合も増えつつあり、直接、間接を含めて2014年は全体の5.6%を占めた。また、2014年には総雇用の1.8%にあたる15万2,000人の雇用も生み出した。

出所：United Nations World Tourism Organization (UNWTO)

観光分野のカザフスタンに与える効果 (2014年) (単位：100万米ドル)		
GDPへの直接寄与	3,510	1.6%
GDPへの合計寄与	11,390	5.6%
雇用への直接寄与	151.9	1.8%
雇用への合計寄与	453.4	5.3%
外国人観光客の支出	1,650	2.0%
カザフスタン人観光客の支出	5,212	2.6%
余暇旅行の支出	5,823	1.4%
ビジネス旅行の支出	1,040	0.3%
資本投資	2,350	4.9%

出所：世界旅行ツーリズム協議会



旅行・観光競争力レポート項目	カザフスタンの順位 (141カ国中)
トラベル&ツーリズム競争力ランキング	85位
資源有効利用	36位
旅行・観光政策と有効化の条件	106位
インフラ	89位
自然と文化資源	112位

出所：The Travel & Tourism Competitiveness Report 2015



ASTANA & ALMATY STYLE
FASHION

ファッション市場



カザフスタンのファッション市場は外国ブランドが優勢である。国内ブランドの既製服の生産が需要に追いつかないことに加え、価格と品質の観点からも、消費者は国産品より外国製品を選ぶ傾向が高いからだ。また、所得上昇に伴い、ファッションの消費状況も変化をみせている。これまでの必要最低限・価格

重視の消費から、品質やブランドの知名度を重視した消費に移行している。過去5年間の輸出入の傾向を見ると、2014年の既製服の輸入額は、2010年に比べ約6倍となった。最も多く輸入されたアイテムは女性用衣類で、既製服輸入量の13%を占めている。

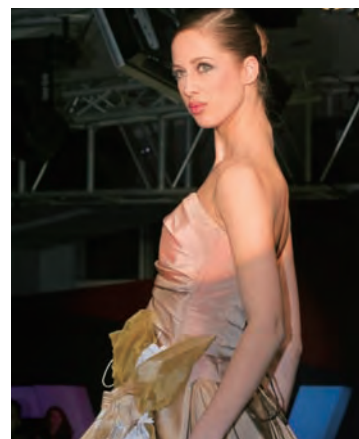
既製服輸出入推移				
年	輸出 (単位: 1,000米ドル)	増加率 (%)	輸入 (単位: 1,000米ドル)	増加率 (%)
2010	3,760	-	186,925	-
2011	34,163	808.6	354,981	89.9
2012	19,145	△ 44.0	761,279	114.5
2013	21,793	13.8	1,008,900	32.5
2014	24,001	10.1	1,067,855	5.8

出所: Trademap, ITC



ファッションイベント

カザフスタンのファッション界は活気を見せている。国内外デザイナーのコレクションを取り上げてカザフスタンのファッション育成に貢献を図る「カザフスタン・ファッション・ウィーク」は2004年よりスタートし、2016年は11月にアスタナで開催された。ファッションイベントの雄「メルセデス・ベンツ・ファッション・ウィーク」は2013年よりカザフスタンでも毎年開催されるようになり、新進デザイナーの登竜門ともなるイベントとして注目を集めている。2016年は10月にアルマトイで開催された。



© Radlovskiy Yaroslav / Shutterstock, Inc.

アパレル産業の小売業



既製の輸入増加傾向からも伺えるが、現在のカザフスタンのファッション市場はザラなどのグローバル展開をする外国ブランドが中心だ。一定の品質が保障され、他国のトレンドも反映されたデザインを気軽に身に付けられるため現在のカザフスタンのファッション市場を牽引している。そんな外国ブランドが主流の市場で、一部の国内デザイナーも躍進しつつある。国内ブランドは一般的に高額な製品が多いため人気は低いが、レディスブランドのサルタはそのオリジナル性のあるデザインから注目されているブランドである。

代表的な外国ファッションブランド

※上級社会経済クラス(A): マンションや一戸建てを購入可能な経済状況 中上級社会経済クラス(B): マンションや一戸建て以外の全てを購入できる経済状況 中級社会経済クラス(C1): 家庭内必需品は購入できるが乗用車購入には至らない経済状況

インディックスグループ

スペインのブランド。2009年にアパレルメーカーのファウズ・アブドゥルアズィーズ・アルホケイル社とフランチャイズ合意、カザフスタンへ進出。若者に人気のザラなどのブランドを持つ。現在、ザラはアスタナ1店舗、アルマトイ3店舗、ブルアンドベアー4店舗、マッシモドゥッティ3店舗、ベルシュカ4店舗、ストラディバリウス5店舗、オイショ2店舗を展開。客層は上級社会経済クラス(A)、中上級社会経済クラス(B)が多い。

オースティン

ロシアのブランド。2008年にカザフスタンへ進出。若者層対象のカジュアル製品が豊富。現在はアスタナ2店舗、アルマトイ6店舗含む22店舗を展開。客層は中上級社会経済クラス(B)、中級社会経済クラス(C1)が多い。

ニューヨーカー

ドイツのブランド。若者層対象のスポーティファッションを揃える。現在はアスタナ1店舗、アルマトイ2店舗含む4店舗を展開。客層は中上級社会経済クラス(B)、中級社会経済クラス(C1)が多い。

メックス

オランダのブランド。若者層から中年層を対象にした商品を揃える。現在はアスタナ4店舗、アルマトイ5店舗含む計15店舗を展開。客層は中上級社会経済クラス(B)、中級社会経済クラス(C1)が多い。

エルシーワイキキ

トルコのブランド。コンセプトは「格好良く着ることはみんなの権利」。現在はアスタナ4店舗、アルマトイ7店舗含む計27店舗を展開。客層は中上級社会経済クラス(B)、中級社会経済クラス(C1)が多い。

代表的な国内ファッションブランド

サルタ

カザフスタンの最も有名なファッションデザイナーのサルタナト・バイムクハメドヴァにより2008年に設立。ドバイなど中東地域でもその名が知られる。現在はアスタナ、アルマトイで各1店舗を展開。客層は上級社会経済クラス(A)が多い。

クラベッツ

レディスファッションとアクセサリーのブランド。時を超えた、女性らしい優雅さを反映したデザインで人気。特にワンピースはどんな場面でも着用できると売れ筋のアイテム。現在はアルマトイに3店舗を展開。客層は上級社会経済クラス(A)、中上級社会経済クラス(B)が多い。

アイダ カウメノヴァ

イタリアのファッションスクールで学んだ後、2006年に設立。ソーイング技術、品質ともにヨーロッパブランドに引けを取らず、カザフスタンの伝統色を漂わせるデザインで有名。現在はアスタナ、アルマトイで各2店舗を展開。客層は上級社会経済クラス(A)、中上級社会経済クラス(B)が多い。

カミラ クーバニ

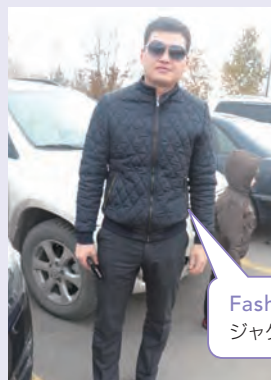
「女性と男性のためのおしゃれで着やすいファッション」をコンセプトに2010年に設立。CIS諸国進出を果たした現在、ヨーロッパとアジアの市場進出を目指す。現在はアルマトイに1店舗を展開。客層は上級社会経済クラス(A)、中上級社会経済クラス(B)が多い。

カザフスタン街角ファッションチェック

① 名前 ② 年齢 ③ 職業 ④ 学歴 ⑤ 経済クラス ⑥ 婚姻状況 ⑦ 月々の衣料費 ⑧ 所持する携帯電話機種 ⑨ 好きなファッションブランド

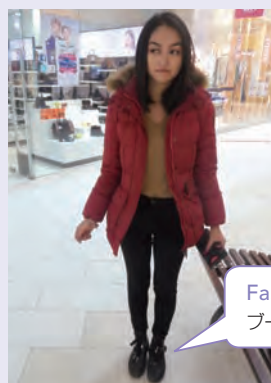
※上級社会経済クラス(A): マンションや一戸建てを購入可能な経済状況 中上級社会経済クラス(B): マンションや一戸建て以外の全てを購入できる経済状況 中級社会経済クラス(C1): 家庭内必需品は購入できるが乗用車購入には至らない経済状況

アスタナ



- ① ザキルさん
- ② 27 歳
- ③ ビジネスマン
- ④ 大卒
- ⑤ 中上級社会経済クラス (B)
- ⑥ 既婚、2 人の子供あり
- ⑦ 70 米ドル
- ⑧ iPhone 6
- ⑨ 特になし

Fashion Point
ジャケット: ザラ / 100 米ドル



- ① アイズハンさん
- ② 18 歳
- ③ 大学生
- ⑤ 上級社会経済クラス (A)
- ⑥ 独身
- ⑦ 200 米ドル
- ⑧ iPhone 6
- ⑨ ベルシュカ、ザラ、マンゴ

Fashion Point
ブーツ: マイケルコース / 209 米ドル



- ① ヌルスルタンさん
- ② 30 歳
- ③ 人事マネージャー
- ⑤ 中級社会経済クラス (C1)
- ⑥ 既婚
- ⑦ 50 米ドル
- ⑧ iPhone 5
- ⑨ ナイキ、アディダス、ニューヨーカー

Fashion Point
パンツ: コットン / 18 米ドル



- ① ダナさん
- ② 26 歳
- ③ 建築会社経営
- ④ 大卒
- ⑤ 中級社会経済クラス (C1)
- ⑥ 独身
- ⑦ 40 米ドル
- ⑧ iPhone 6
- ⑨ カルバンクライン、ゲス

Fashion Point
パンツ: アディル / 39 米ドル

アルマトイ



- ① ユリアさん
- ② 25 歳
- ③ 無職
- ④ 大卒
- ⑤ 中上級社会経済クラス (B)
- ⑥ 既婚
- ⑦ 100 米ドル
- ⑧ iPhone 6
- ⑨ ザラ、マッシモドゥッティ

Fashion Point
ミンクのベスト:
ノーブランド / 1,500 米ドル



- ① ダニヤルさん
- ② 32 歳
- ③ IT スペシャリスト
- ④ 大卒
- ⑤ 中級社会経済クラス (C1)
- ⑥ 独身
- ⑦ 20 米ドル
- ⑧ LG K10
- ⑨ 特になし

Fashion Point
ジーンズ: ノーブランド / 45 米ドル



- ① マディナさん
- ② 30 歳
- ③ 経理士
- ⑤ 中級社会経済クラス (C1)
- ⑥ 既婚
- ⑦ 50 米ドル
- ⑧ iPhone 5S
- ⑨ マンゴ、コットン、ブルアンドベアー

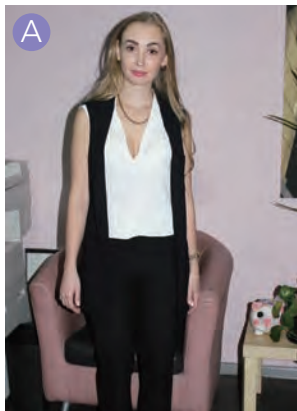
Fashion Point
コート: アディダス / 80 米ドル



- ① アンヴァルさん
- ② 29 歳
- ③ 銀行員
- ④ 大卒
- ⑤ 上級社会経済クラス (A)
- ⑥ 既婚、子供あり
- ⑦ 100 米ドル
- ⑧ Samsung Galaxy S6
- ⑨ マッシモドゥッティ

Fashion Point
ジャケット: ザラ / 90 米ドル

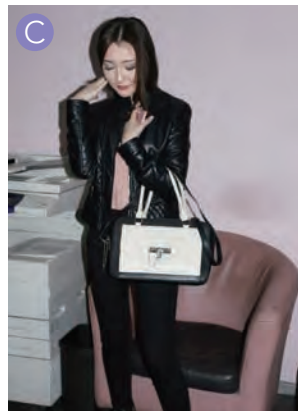
カザフスタンファッショントーク (アスタナ・アルマトイ)



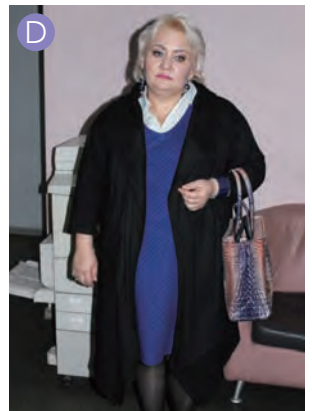
A タチアナさん (29歳)
イベント会社経営
上級社会経済クラス (A)



B イェヴゲニさん (42歳)
大手美容サロンセラピスト
上級社会経済クラス (A)



C ヴェレナさん (20歳)
メイクアップアーティスト
中上級社会経済クラス (B)



D タチアナさん (43歳)
家庭教師
中級社会経済クラス (C1)



E ユリさん (33歳)
ショーマン
中上級社会経済クラス (B)



F アルベルトさん (20歳)
学生
中上級社会経済クラス (B)



G アクマラルさん (20歳)
学生
中級社会経済クラス (C1)



H アールズーさん (33歳)
販売スタッフ管理者
中級社会経済クラス (C1)

皆さんはファッションに関心はありますか？

一同：もちろん！

H：可能な限り、流行に取り残されないようにしています（笑）。

最新モード情報はどこから得ていますか？

E：雑誌、テレビ番組やインターネットからがほとんど。

H：民放テレビ局の NTK はファッションプログラムが多く、スターの着こなしがピックアップされるのでよく見ます。

D：「流行の罪^{*1}」も見逃しませんよ。

C：インスタグラムやフェイスブックも使えますよね。あと「mail.ru^{*2}」のファッションページを読んでいます。

F：私は「Vkontakte^{*3}」などのソーシャルネットワークでチェックしています。

普段はどんな格好をしていますか？

A：ラフな格好が多いけど、スポーティーに徹しないように気をつけています。品よく見えるように銀色のスニーカーも履いたりします。カジュアルなスタイルでも色のコーディネートを考えますね。

E：そう、スニーカーでもきれいなものでないかね。

F：夏はショートパンツも履きます。でも丈が短すぎるものは好きではないですね。

服を買うのに最も影響するのは何ですか？

E：広告ですね。洋服を買うのに背中を押してくれます。

B：マネキンでも他人でもいいんですが、実際にその服を着ている姿を見ないと買えません。



E: カザフスタンでは自分が着ている服と同じものを着ている人に遭遇する確率がけっこう高い!

H: そうですね、でも着る人によって洋服は違って見えるものですよ。

どんなときに服を買いますか?

E: 手元にお金があるときはいつも(笑)

B: 私にとってショッピングは麻薬のようなもの。店に入ったら最後、買い物せずに出ることはまずありません。

E: 私は購入プランをしっかり立ててから買い物に出るので、衝動買いはまずしませんね。

B: 毎年、セールが近づくと心が揺れますね。

D: 私も(笑)。衣類の出費は最小限に抑えたいので、セールを有効に使っています。

1ヶ月のファッション予算はどれくらいですか?

B: 人それぞれですが、平均15万テンゲくらいじゃないでしょうか。

E: 14万テンゲのジャケットは私にとって高価でしたが、本当に気に入ったので、先日買ってしまいました。

A: イベントがある月はワンピースを買います。完璧な自分を演出するための出費は惜しみません。

D: 子供や夫の衣類もあるので、自分に使えるのは3~4万テンゲくらいです。

服を選ぶときのポイントは何ですか?

H: ブランド名よりもデザインを第一優先にします。

B: 裏地などの裁縫にも目を光らせないとね。もちろん、値段も大事なポイントになりますよ。

E: 私にとって値段は優先事項ではないんです。気に入ったら値段は関係ない。

D: 経験上、値段で躊躇して買わなかったら必ず後悔します。かといって、値段に目をつぶることは難しいけど。

ファッションの買い物に節約しますか?

E: 靴にはお金を惜しみませんね。良質の靴は長い間履くことができるし。

B: 靴代を節約するなんてあり得ない! 私は初対面の相手の足元を見てしまうので、靴は大事です。

D: 最も大事なことは、靴の手入れが行き届いていること。泥付きの高級ブーツでは意味がありませんよ。

E: 靴は健康とつながるものだし、健康を買おうと思えばお金を惜しみたくないですね。

インターネットショッピングは利用しますか?

A・F・G: 手頃な値段の商品が豊富な Lamoda^{*4} が人気ですね。広告をあちこちで見ます。

H: しょっちゅう目にするから記憶に残る。Lamodaはいい営



業をしているということですね。

D: インターネットショッピングは信用できないかな。メーカーによってサイズが違うし。

E: 最近は中国のショッピングサイトが増えましたね。でも写真と実際の商品に違いがありすぎます(笑)。

国内・外国製品についてどうお考えですか?

A: この前、サルタ^{*5}で12万テンゲのコートを買ったのですが、既製品なのにオーダーメイドのような着心地でした。もちろん値段もオーダーメイド並みでしたが(笑)。国内デザイナーの洋服は、体にフィットするんです。

D: 外国ブランド製品のほとんどは中国で生産されているから、国内メーカーのものよりも断然安い!

E: だからカザフスタンは中国製品を着ている人だらけなんです。

D: 今や世界中の人が中国製品を着ていますよ。ソビエト時代は、中国製の生地といえば高品質だったんですけどね…。

日本のファッションをどうお考えですか?

D: 日本のファッションデザインはクリエイティブですね。

E: 日本人は個性的な着こなしをしていますね。日本のアニメからも、想像力が豊かな国民だと想像できます。だってアニメの登場人物は奇抜な格好をしているし。

D: カザフスタンは日本のファッション市場に進出するなら、断然クリエイティブにならないと。多くの女性がザラを身につけているけど、それはザラのファッションは誰にでも似合うから。その結果、カザフスタン人のファッションは個性がないんですよ。カザフスタンのファッションに必要なのは、オリジナル性じゃないでしょうか。

^{*1} 世界の流行をさまざまな角度から紹介するカザフスタンのファッション TV 番組

^{*2} カザフスタンのニュースサイト

^{*3} ツイッターに似たソーシャルメディア

^{*4} カザフスタン最大のインターネットショッピングサイトの1つ。特に衣料品は取り扱いブランドの数が多く、品揃えが豊かなことから人気が高い

^{*5} 人気のある国内レディースブランド

ファッション情報



カザフスタンも情報収集はインターネットが主流である。最近、ファッション番組や雑誌よりも、インスタグラム、ツイッター、フェイスブックなどのソーシャルネットワークやファッションブロガーによるブログなど、インターネットであらゆる角度からファッション情報を入手する人が多い。一方、ファッション番組や雑誌からの情報収集方法も一部では根強く残る。ファッション番組の「流行の罪」や、ロシアの著名デザイナーであるアレクサンドル・ワシリエフ氏の冠番組は今も高視聴率を維持しており、ファッション雑誌「Vogue」「Cosmopolitan」「Bazaar」の愛読者も多い。

美容院市場



都市部に住む女性は、身だしなみへの関心が高い。ヘアカットを始め、ヘアカラー、スキンケア、マニキュアやメイクアップなどのために3週間に一度の頻度で美容院を利用するという。

中級・中上級社会経済クラスが利用する美容院

予約なしで利用できることが多い。ヘアカットなど注文はほぼ希望通りに仕上がり、美容師の技術も悪くない。

上級社会経済クラスが利用する美容院

予約必須。顧客ごとに専属の美容師がいる。専属美容師は定期的に訓練を受けて、技術を常に磨いているという。

アルマトイの美容院平均価格 (単位: テンゲ)

女性ヘアカット	2,500	6,000
男性ヘアカット	2,000	5,000
子供ヘアカット	1,500	2,000
ヘアカラー	3,000	9,000
ヘアトリートメント	10,000	15,000
結婚式用ヘアセット	5,000	10,000
ブロー	2,500	4,000
パーマ	8,000	30,000
マニキュア	2,000	3,000
男性マニキュア	2,500	4,000
ディリーメーカーキャップ	5,000	7,000
結婚式用メーカーキャップ	10,000	12,000
イブニングヘスタイル	5,000	7,000
クリエイティブヘアスタイル	5,000	10,000
ホットアイロンスタイリング	3,000	4,000
アイブ로우カラーリング	600	1,000
フェイスマッサージ	3,000	4,000
ヘアエクステンション	20,000	30,000

出所: BMR Research Turkey

コスメ・美容市場

大陸性気候に位置するカザフスタンは、常に極寒・猛暑・乾燥の影響を受けている。この環境の下、女性は日焼け止め成分を含む化粧品を積極的に購入し、保湿や紫外線対策をはじめとしたスキンケアに余念がない。カザフスタンの女性にとって化粧品は贅沢品ではなく生活必需品に位置付けられ、同国のコスメ・美容市場は成長力のある部門とみなされている。Procter & Gamble（米国）、Oriflame（スイス）、Avon Cosmetics（米国）、L'Oréal（フランス）、Kalina Concern（ロシア）などの大手多国籍ブランドは、ニーズに合わせた新製品開発や豊富な製品ラインナップ、派手な宣伝活動などによってカザフスタンのコスメ・美容市場を席巻している。

一方で最近のトレンドとして、韓国のスキンケア製品が流行している。大手多国籍ブランド商品の約2倍の価格で売られているが、アジア人の肌に合うとして人気を集めている。韓国系小売専門店で購入するのが一般的なスタイルであるが、インターネット通販も広がりつつある。アイメイクなどの化粧品は



Mon Amiという専門店で購入する人が多い。CHANELやLANCOMEといった高価格帯の製品を使用する女性も多く、価格よりも品質が重視されている。

Kalina Concern

カザフスタンの女性の間で最も浸透しているスキンケア製品メーカーといえば、Kalina Concern が挙げられる。Black Pearl、Silky Hands、Pure line などの多彩な商品ブランドを持つロシアブランドのメーカーだ。カザフスタン人にとって身近なロシアブランドであり、オーガニック製品であることが人気の理由だ。



Black Pearlの保湿クリーム（約840テンゲ）



コスメ・スキンケア 製品売り上げ（2012年） （単位：100万テンゲ）	
乳幼児製品	5,380
入浴製品	11,357
カラー化粧品	25,241
デオドラント製品	7,311
脱毛剤	988
フレグランス	23,442
ヘアケア製品	29,387
男性用製品	16,390
オーラルケア製品	8,610
スキンケア製品	15,623
紫外線予防製品	411
その他	4,184
プレミアム化粧品	9,483
マスカ化粧品	112,858
パーソナルケア	142,275

カラー化粧品売り上げ （単位：100万テンゲ）		スキンケア製品売り上げ （単位：100万テンゲ）	
カテゴリー	2012年	カテゴリー	2012年
アイメイク製品	6,915	ボディケア製品	2,570
フェイシャルメイク製品	3,077	フェイシャルケア製品	11,990
リップ製品	12,574	ハンドケア製品	1,062
ネイル製品	2,674		
合計	25,242	合計	15,623

カラー化粧品・企業別シェア		スキンケア製品・企業別シェア	
企業名	2012年	企業名	2012年
L'Oréal Groupe	13.2%	Kalina Concern OAO	24.9%
Avon Cosmetics	10.8%	Oriflame Kazakhstan	14.6%
Oriflame Kazakhstan	10.1%	Avon Cosmetics	14.2%
Mary Kay	8.6%	Beiersdorf AG	7.3%
Procter&Gamble	5.7%	Mary Kay	5.3%
Orion Oyj	2.6%	Johnson & Johnson	2.8%
Chanel	0.6%	Orion Oyj	2.3%
Christian Dior	0.5%	L'Oréal Groupe	1.7%
その他	47.9%	その他	26.9%

出所：Euromonitor、Trade associations、Trade press

КАҢА МҰЗДАЛҒАН
БАЛЫК



ASTANA & ALMATY STYLE
FOOD

食事情

経済の発展に伴い、昨今のカザフスタンの食生活は変わりつつある。特に都市部を中心に、食生活に素早さと手軽さが求められるようになった。従来の「夕食は家で家庭料理を」というスタイルから、調理時間短縮のためにインスタント食品を積極的に取り入れたり、気軽に外食をしたりといったスタイルにシフトしつつある。消費者の食に対する関心の高まりは、カザフスタン進出を検討する外資系食品メーカーにとって大きな魅力となっている。すでに進出を果たした小売店はさらなる事業拡大を進めるなど、カザフスタンの食品市場は大きな成長が期待されている。

ショッピングモールの建設が進むことでフードコートスペースも増加し、外資系ファストフード店の動きがさらに活発化している。バーガーキングは2012年以降、カザフスタンへ300万米ドル以上の投資を行い、サブウェイは進出に向けて調査を始めたことが明らかになっている。2015年にはスターバックス、2016年にはマクドナルドがオープンした。限定された食品しかなかったソ連時代から年月を経て、カザフスタン消費者の目は新しい食品に向けられている。

さらに、近年はデリバリーサービスを行う飲食店が増えている。デリバリーの種類はピザ、寿司（カリフォルニアロール寿司など）、ハンバーガー、ケンタッキーなどのファストフードが中心で、ピザ1枚当たり1,500テンゲから3,000テンゲで購入できる。配達料として別途300テンゲから500テンゲが加算、支払いは配達時に現金で行う仕組みだ。注文総額による配達料の無料や、割引クーポンの制度もある。配達エリアはアスタナ、アルマトイ共に市内の中心部に限られており、配達までの時間は渋滞状況にもよるが30分から1時間前後かかる。



アスタナ



以前はほとんどのレストランがカザフスタン伝統料理を提供していたが、遷都以降、外国人の人口増加とともにアスタナの外食市場は国際色豊かになりつつある。今日のアスタナでは、他の世界都市と同様に各国料理を楽しむことができる。イシム川の左岸に位置するトゥラン通りは「レストランの交差点」とも言われ、ウズベク、ロシア、ウクライナ、ジョージア、イタリア料理などの各種レストランが並んでいる。

アルマトイ



カザフスタンにある高級レストランのほとんどはアルマトイに集結している。アルマトイ南部に位置するドスティク通りには、ラジョ、サマル、ロイヤルカフェなどの最高級レストランが並ぶ。一方、アブライ・ハン大通りは、カザフスタン進出を果たして日が浅いスターバックスをはじめグロリアジーンズなどの外国ブランドを中心に、カジュアルなコーヒーショップが軒を連ねる。

食案内

カザフ料理の主な食材は、肉、小麦粉、乳製品である。香辛料を使用しないのが特徴の1つだ。伝統的カザフ料理は手が込んだものが多く、その筆頭に挙げられるベシュバルマク（5本の指という意味）は、調理時間が3時間かかるという。料理名どおり、フォークやスプーンを使わず手で食べるのが正式な食べ方だ（レストランではフォークを使用する人もいる。手で食べる人のためにはおしぼりなどが用意されている）。本来のベシュバルマクは馬肉料理だが、最近は馬肉が高価なために牛肉や羊肉で代用することが多い。結婚式などの祝いの席で必ずテーブルに並べられる一品で、誰の皿に肉のどの部位が盛られるかが注目されるという。家族関係に重きをおくカザフスタンの文化では、親類宅への訪問は娯楽の1つに数えられる。昔は手料理で来客をもてなしたが、レストランの多様化と質の向上を背景に、昨今では来客をレストランに招待してもてなす家庭が増えつつある。



伝統的なカザフ料理「ベシュバルマク」

食品市場



© dinozaver / Shutterstock, Inc.

グリーンバザール（アルマトイ）の肉売り場

カザフスタン統計委員会によると、2015年第3四半期における全支出の半分（47.4%）は「食品」が占める。この値は1人当たり50,265テンゲとなる。最も支出の多い食品項目は、肉と肉製品（15%）、パン類と穀類（6.5%）だった。また低所得層人口の10%と高所得層人口の10%を比較した場合、高所得層は魚介類を低所得者の3.8倍、肉類を3.2倍多く消費していることがわかった。肉類の消費量が110万トンに対し、自国での生産は93万トンである。不足分17万トンは、米国（合計輸入量の46%）、CIS諸国（合計肉輸入量の37%）などからの輸入により補われている。砂糖類の消費は生産量の2倍になっており、不足分はブラジルや近隣のCIS諸国から輸入している。

カザフスタンの食品生産量と消費量、輸入量と輸出量（2015年）（単位：トン）

食品グループ	生産	消費	輸入	輸出
肉、家禽肉、食用臓物	930,290	1,104,700	186,000	11,589
魚介類（加工保存品を含む）	33,665	61,969	47,419	19,115
果物・野菜ジュース	168,523	201,142	34,166	1,547
加工フルーツ・ナッツ類	1,862	145,520	158,557	14,899
植物油	283,218	399,791	160,608	44,035
乳製品（牛乳を除く）	728,492	866,617	155,180	17,055
小麦粉	3,462,307	1,662,507	9,628	1,809,427
製菓類	832,104	910,966	85,564	6,701
シリアル（米を含む）	211,422	177,675	32,785	66,531
砂糖類	262,021	446,676	185,290	634
チョコレート・チョコレート菓子類	77,624	142,891	91,034	25,766
茶・コーヒー	19,873	53,199	35,981	2,655
麺、クスクス及び類似の穀粉製品	145,572	160,377	30,016	15,211
食卓塩	162,345	168,843	21,548	15,049

出所：カザフスタン統計委員会、RFCA

カザフスタンの食品輸出額と輸入額（2015年）（単位：1,000米ドル）

食品グループ	輸出額	輸入額
肉、食用臓物	23,177	197,949
魚介類その他	50,503	48,764
乳製品、鶏卵、天然蜂蜜、動物性食用品	35,832	240,952
動物性食用品	6,020	3,916
食用野菜、特定根菜類	17,428	222,878
食用果物、ナッツ、柑橘類やメロンの皮	9,776	445,533
コーヒー、茶、香辛料	8,506	122,880
シリアル	817,665	38,068
製粉製品（モルト、澱粉、イヌリン、小麦グルテン）	496,442	26,274
オイルシード、油性果物その他	223,577	52,701
野菜プレーティング材、野菜製品	950	672
動物または植物油脂及びその切断産物	53,597	182,751
インスタント肉・魚介類、水生無脊椎動物	6,315	88,463
糖類、砂糖菓子	25,799	250,081
ココア	27,458	193,235
インスタントシリアル、小麦粉、澱粉、乳製品	44,093	289,635
インスタント多種食用品	20,971	240,892
飲料、アルコール、ビネガー	46,723	179,319

出所：カザフスタン統計委員会、RFCA



©dinozaver/Shutterstock, Inc.

バザールで販売される種類豊富なパン

カザフスタンの2015年第3四半期の小麦粉含む小麦製品の消費額は、1人当たり6,912テンゲだった。乳製品の消費額は1人当たり4,661テンゲで、続いて肉類、製菓類の消費量が高い数字となった。

カザフスタンの食品消費量(2015年)上位10項目

食品グループ	消費量(単位:トン)
小麦粉、小麦製品	1,662,507
肉、家禽肉、食用臓物	1,104,700
製菓製品	910,966
乳製品(牛乳を除く)	866,617
糖類	446,676
植物油	399,791
果物・野菜ジュース	201,142
シリアル(米を含む)	177,675
食卓塩	168,843
麺、クスクス及び類似的穀粉製品	160,377

出所: カザフスタン統計委員会、RFCA

カザフスタンの世界からの食品輸入(括弧内は日本の数字) 単位: 1,000 米ドル

	2013 年	2014 年	2015 年	輸入主要国
飲料、アルコール飲料、酢	307,145 (592)	282,734 (391)	179,319 (100)	ロシア、ジョージア、モルドバ
生きた動物	66,420 (0)	58,201 (0)	24,635 (48)	ロシア
コーヒー、茶、香辛料	160,598 (11)	142,213 (4)	122,880 (3)	インド、ケニア、ロシア
魚貝類	60,585 (37)	54,889 (18)	48,764 (2)	ノルウェー、ロシア
油種及び油性果物 (種々の穀類、種子、果物など)	63,712 (0)	59,367 (16)	52,701 (2)	ウズベキスタン、ロシア、米国
動物性・植物性オイル、 その副産物(食用オイルなど)	186,840 (0)	177,843 (1)	182,751 (2)	ロシア
加工肉、魚、 その他の海産物	139,459 (0)	126,434 (0)	88,463 (0)	ロシア
糖類及び菓子	337,500 (1)	339,086 (0)	250,081 (0)	ブラジル、ロシア、ウクライナ
カカオ及びカカオ製品	296,718 (0)	253,473 (0)	193,235 (0)	ロシア、ウクライナ
加工穀類、小麦粉、澱粉類または 乳製品(製菓用製品)	324,295 (2)	325,493 (2)	289,635 (0)	ロシア、ウクライナ、スイス
加工野菜、果物、干菓子、 その他青果製品	244,376 (1)	243,691 (1)	196,991 (0)	ロシア、中国
ラック (松脂、植物エキスなど)	7,531 (0)	9,472 (0)	5,991 (0)	ロシア
植物性紡織用繊維材、 その他不特定植物製品	986 (0)	1,364 (0)	672 (0)	—
食糧品産業残留物及び廃棄物、 調製動物飼料	86,157 (84)	82,838 (0)	63,046 (0)	ロシア
乳製品 (卵、天然蜂蜜、その他食用動物製品)	415,315 (0)	410,334 (0)	240,952 (0)	ロシア、ベラルーシ、ウクライナ
動物製品、その他不特定製品	7,154 (0)	4,304 (0)	3,916 (0)	アルゼンチン
食用野菜、特定根菜類及び塊茎	265,292 (0)	251,531 (0)	222,878 (0)	ウズベキスタン、中国、タジキスタン
食用果実、干菓子(柑橘類の皮等)	596,873 (0)	606,277 (0)	445,533 (0)	ウズベキスタン、中国、ポーランド
穀類	26,645 (0)	28,639 (0)	38,068 (0)	ロシア
粉製品、麦芽、澱粉、 イヌリン、小麦グルテン	32,293 (0)	27,929 (0)	26,274 (0)	ロシア
肉類、食用臓物	307,410 (0)	252,621 (0)	197,949 (0)	米国、ロシア、ウクライナ

出所: 国際貿易センター

キッチン拝見

アスタナ

ヌルランさん & ヴェネラさん一家

家族構成：ヌルランさん（夫／41歳）、ヴェネラさん（妻／41歳）、子供3人の5人家族

住まい：アスタナのマンション（持ち家）

月額収入：1,500米ドル／中上級社会経済クラス（B）※マンションや一戸建て以外の全てを購入できる経済状況



■ ご家族と暮らしを紹介してください

ヴェネラさん：3人目が生まれるまでは私も働いていましたが、今は専業主婦をしています。夫は大手建設会社で働いています。夫の趣味は狩りで、秋はガチョウ、冬はイノシシや狼を仕留めるんですよ。

■ 月々の食費を教えてください

ヴェネラさん：基本的に家で食事をするようにしているので、食費は350米ドルくらいで済みます。月に2、3度は、家族で外食に出かけます。私も子供達もケンタッキーフライドチキンが大好きなのですが、夫はチキンだけではお腹がいっぱいにならないといって、あまり好きではないようです。

■ 日常の食生活を教えてください

ヌルランさん：朝食は各自でとっていますが、夕食は家族揃っ

て頂きます。私の帰宅がどんなに遅くなっても、子供達は私抜きで食事を始めません。私が1さじ食べることが、我が家の夕食が始まる合図なのです。

ヴェネラさん：野菜や果物など生鮮食材は、家の隣にあるバザールで仕入れます。家にお客を呼ぶことが好きなので、伝統的なカザフ料理を作ってもてなすこともよくあります。私の作るベシュバルマクは好評で、来客がある日は朝からキッチンに籠っています（笑）。一番利用しているキッチン家電といえば、オーブンですね。長女はオーブンでお菓子を作るし、下の娘たちもチキンのオーブン焼きが大好きなので。ベシュバルマクも、オーブンで調理するんですよ。今、冷蔵庫には夫が狩りで仕留めた鴨肉があるので、今晚はオーブンで鴨料理を作ろうと思っています。

アルマトイ

ロマンさん & マリヤさん一家

家族構成：ロマンさん（夫／40歳）、マリヤさん（妻／40歳）、子供2人の4人家族

住まい：アルマトイのマンション（持ち家）

月額収入：750米ドル／中級社会経済クラス（C1）※家庭内必需品は購入できるが乗用車購入には至らない経済状況



■ ご家族と暮らしを紹介してください

ロマンさん：パーティなどを企画する会社を経営しており、夫婦で働いています。週末のほとんどが仕事なので、子供たちには申し訳なく思っています。でも二人とも仕事が趣味なので、苦痛ではありません（笑）。

■ 月々の食費を教えてください

マリヤさん：外食を含めて1ヶ月に300米ドルほどですね。外食で大事なことは、美味しいことと良心的な値段であること。サラダ、スープにドリンクが含まれたセットメニューが1,500テング内であればうれしいですね。週に1度、食材の買い物をします。忙しくて家で料理ができないことがあるので、冷蔵庫を食材で一杯にはしません。腐らせたくないし、常に新鮮な食材を使いたいからです。

■ 日常の食生活を紹介します

マリヤさん：私たちはアジアンフードが大好きですが、カザフ料理ももちろん大好き。特にベシュパルマクは、皆の好物です。でも大変手間のかかる料理なので、外で食べることが多いですね。基本的にフレンチポテトやハンバーグ、ラーメンなどの簡単なメニューが食卓に並びます。上の娘はお腹が空けば、冷蔵庫にある食材を眺めて一皿を作っているようです。だから娘が簡単に料理できるように、魚、鶏肉やソーセージは冷凍庫に常備しています。我が家では、炊飯器が調理時間の短縮に一役買ってくれています。お米を炊きながら並行して他の料理を作ることができるので、大変重宝しています。

レストラン市場

郷土料理やロシア料理に代わり、イタリアンや無国籍料理など各国料理レストランがカザフスタン都市部で目立ち始めてきた。カザフスタンの外食文化は、緩やかではあるが国際化に向

けて進み出している。現在のところ、ほとんどが国内資本によるもので外国資本レストランは非常に少ない。グローバル展開をするマクドナルドのカザフスタン進出も 2016 年と新しい。

アスタナ、アルマトイの国内資本レストラン

※上級社会経済クラス(A): マンションや一戸建てを購入可能な経済状況 中上級社会経済クラス(B): マンションや一戸建て以外の全てを購入できる経済状況 中級社会経済クラス(C1): 家庭内必需品は購入できるが乗用車購入には至らない経済状況

アソーティ

ロシア料理をはじめ、ヨーロッパ、アジア料理など各種メニューを提供するカジュアルな無国籍料理レストランとして知られる。アスタナに 5 店舗、アルマトイに 8 店舗含む、国内に 18 店舗がある。客層は中上級社会経済クラス(B)、中級社会経済クラス(C1)が多い。

デル・パパ

ゆったりとした空間で本格的なイタリアン料理を楽しむことができる、人気のイタリアンレストランチェーン店。行き届いたサービスに定評がある。アスタナに 3 店舗、アルマトイに 5 店舗ある。客層は中上級社会経済クラス(B)、中級社会経済クラス(C1)が多い。

イースト

アルマトイにある無国籍料理レストラン。各国の選び抜かれたメニューを提供し、外国人にも人気がある。レストランシェフのママ氏は、五つ星ホテルでシェフを務めた経歴を持つ。客層は上級社会経済クラス(A)が多い。(写真上から: イーストのエントラス、シェフのママ氏、デザート)



©East

オリビエ

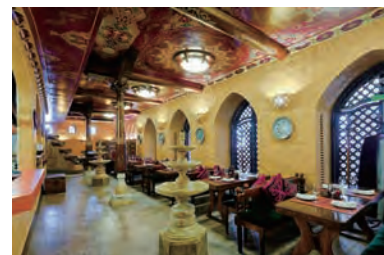
アスタナとアルマトイにある無国籍料理レストラン。ロシアのモダン・アーティストのゲオルギ・ブセンコフ氏の写真が飾られた内装も人気。24 時間営業のため、終日賑わう。客層は上級社会経済クラス(A)が多い。(写真上から: オリビエのエントランス、各種料理)



©Olivier

ジェティ・カズナ

アルマトイにある、伝統カザフ料理がメインの中央アジア料理レストラン。キルギス、中国などの伝統モチーフを用いた内装が特徴。同じ建物内には日本料理レストランとイタリアンレストランもある。客層は上級社会経済クラス(A)が多い。(写真: 伝統モチーフに彩られたジェティ・カズナの内装)



©ZHETY-KAZYNA

ベラジオ

アルマトイのメデウ自然公園内にある無国籍料理レストラン。広がる大自然を満喫しながらおいしい食事を楽しむことのできる、洒落たレストランとして地元の人に人気がある。ソムリエも常勤し、食事に合ったワインを楽しむこともできる。客層は上級社会経済クラス(A)が多い。

マンガ・スシ

日本文化のマンガと日本伝統料理の寿司を融合させた、斬新な寿司レストラン。特に若い世代に人気である。アスタナに1店舗、アルマトイに2店舗ある。客層は中上級社会経済クラス(B)、中級社会経済クラス(C1)が多い。

ラインブリュー

カザフスタンのビールメーカーが経営する、グリル料理をメインとしたバーベキューレストラン。ビールのメニューが豊かで、外国人の利用者も多い。アスタナ、アルマトイ、カラガンダに店舗がある。客層は上級社会経済クラス(A)が多い。

外国資本レストラン

ケンタッキーフライドチキン(米国)

2008年にオープン。急速な店舗拡大を展開し、現在、アスタナ13店舗、アルマトイ17店舗含む計33店舗を展開する。



ハードロックカフェ(米国)

2014年にアルマトイでオープン。中央アジア初のハードロックカフェ。カザフスタンの若者のナイトライフの中心地。



バーガーキング(米国)

2014年にオープン以降、急成長を遂げる。現在、アスタナ7店舗、アルマトイ12店舗含む計26店舗を展開する。



スターバックス(米国)

2015年にアルマトイでオープン。1年間で6店舗をさらにオープンさせ、急速な店舗拡大を実現した。



マクドナルド(米国)

2016年3月にアスタナ、続いてアルマトイでオープン。今後5年でさらに15店舗の店舗拡大を目指している。



ハーデーズ(米国)

2010年にアルマトイでオープン。現在はアスタナ7店舗、アルマトイ5店舗を展開する。



ASTANA & ALMATY STYLE
LIVING



建設市場

現在のカザフスタンの建設市場は、ロシア・ルーブルの弱体化、銀行間の民間金融問題発生等により減速傾向にある。しかし、低迷する市場を活性化させるべく、政府はアルマトイの「G4 黄金都市プロジェクト」を計画している。100 億米ドルが投資されるこの巨大プロジェクトは、アルマトイの建設市場の発展につながると期待されている。またアスタナで開催される国際博覧会も、国全体の建設市場の活性化を促す絶好のチャンスだと見込まれている。

その他、2020 年完成を目標とした 1 万 6,000km の国道建設・修復事業や、75 億米ドルの予算で中国とロシアを結ぶシルクロード・プロジェクトも含まれている。右の Ernst & Young の調査からも、外国投資家はカザフスタンの不動産業と建設業に注目していることがうかがえる。

シルクロード・プロジェクト

ヨーロッパとアジア諸国間を結び、中国提唱の道路建設プロジェクト。ロシアのサンクト・ペテルブルクからカザフスタン草原地帯、税関検問所のある中国のホルゴスを通するルートで、総距離は 8,445km となる予定。



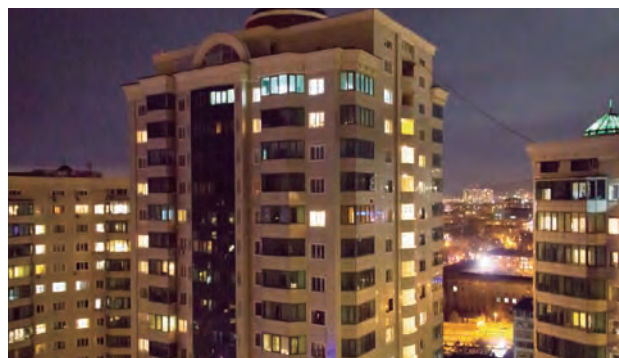
向う 3 年にわたり最も魅力的な外国投資となる カザフスタンのビジネス分野は？（複数回答）

	2013 年	2014 年
エネルギー	41.5%	48.5%
自動車、インフラ（道路、 高速道路、港湾）、不動産と建設	22.5%	37.3%
鉱業、金属工業	28.8%	18.5%
ハイテク、通信産業、機器	6.2%	14.9%
プライベートとビジネスサービス	14.0%	13.9%
農業	10.2%	10.9%
コンシューマ製品	5.6%	9.2%
生活科学	11.9%	8.1%

※複数回答形式のため合計値は 100%を上回る
出所：Ernst & Young カザフスタンの魅力調査 2014

住宅市場

1991 年以降、カザフスタンの 8,200 万 m² の土地には延べ面積 3 億 3,600 万 m² の住宅が建設されてきた。また 1991 年以前に建築されたソ連時代の住宅は、質が非常に悪い。そこで 2012 年より始まった「経済的な住宅計画」では、2020 年を目標に



6,300 万 m² の住宅を新築し、3,500 万 m² の中古住宅を改築するという。このプロジェクトにより建築資材の需要が増加すると見込まれている。

カザフスタンの都市部では、マンションをはじめ高級タワーマンションの建設が盛んだ。商業都市アルマトイで不動産を所有することは、非常に贅沢なこととみなされる。アルマトイ以外の都市部でもアパートやマンションを投資目的で購入し賃貸で利益を得ることが、カザフスタンの投資トレンドになっている。

「経済的な住宅計画」が目指す住宅条件

- ✓ 1 戸あたり 35～75m² であること
- ✓ 1m² 当たりの最大価格が 8 万～10 万 テンゲであること
- ✓ 月額平均家賃が 5 万テンゲであること

出所：Edge Real Estate

カザフスタンの平均土地価格

新築価格 最低値の都市	ジェスカズガン（産業都市／アスタナまで約 610km） タルディコルガン（工業地帯／アルマトイまで約 260km）	9 万テンゲ／m ²
新築価格 最高値の都市	シムケント（人口密度第 1 位／アルマトイまで約 760km）	36 万 4,402 テンゲ／m ²
	アティラウ（石油産業都市／アスタナまで約 2,320km）	35 万 3,468 テンゲ／m ²
	アスタナ	33 万 5,476 テンゲ／m ²
中古物件価格 最高値の都市	アルマトイ	35 万 642 テンゲ／m ²
	アクタウ（港湾都市／アルマトイまで約 3,450km）	34 万 2,080 テンゲ／m ²
	アスタナ	34 万 1,389 テンゲ／m ²

出所：カザフスタン統計委員会

マイホーム

アスタナ

シェフとして働くサイドさんと経理の仕事をするマリナさん。
春には待望の赤ちゃんが生まれる夫婦の、引っ越したばかりの新居を訪問した。

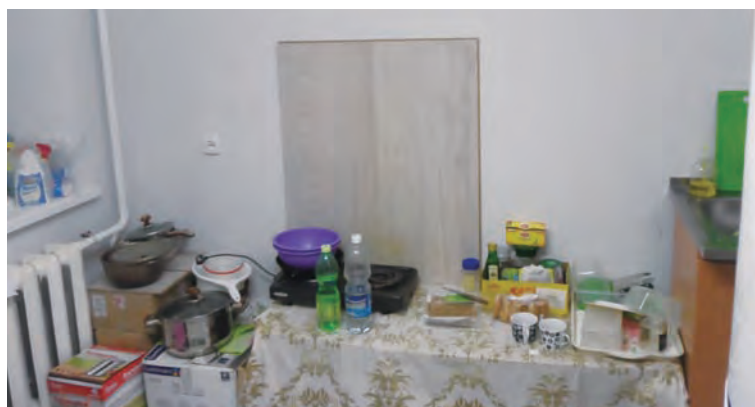
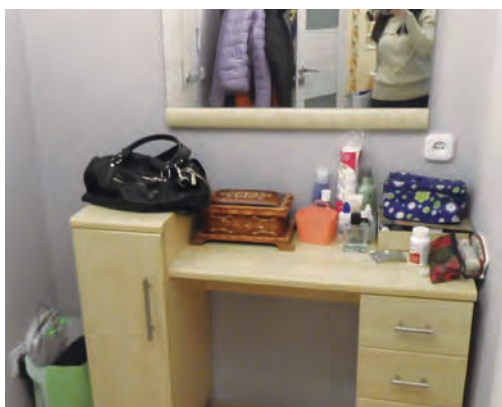
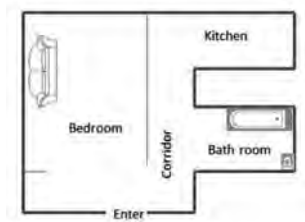
家族構成：サイドさん（夫／32歳）、マリナさん（妻／34歳）

物件タイプ：マンション／新築／持ち家

間取り：40m²

月額収入：600米ドル／中級社会経済クラス（C1）

※家庭内必需品は購入できるが乗用車購入には至らない経済状況



■ ご自宅の魅力は？

サイドさん：自分たちの家を持つことを夢見て一生懸命貯金をし、念願叶ってこの家を購入しました。引っ越したばかりで、ご覧のとおり何も揃っていません（笑）。これまでは賃貸住まいで引っ越しばかりしてきましたが、ここは「自分の家」なので、好きなだけ住めることがうれしいです。

■ ご自宅の問題点は？

マリナさん：開発が始まったばかりの新興住宅地なので、交通手段が整っていないんです。宅配便すら家まで届けてくれなくて。ケンタッキーフライドチキンを注文しても、そこには配達で

きないと断られてしまうんです（笑）。

サイドさん：我が家は非常に狭いので、家具は極力置かないようにしています。テーブルや椅子を使わずに、床に布を敷いた上で食事をとるなど、シンプルライフを送っています（笑）。だから、この家にお客を呼んでおもてなしするのはちょっと難しいですね。

■ 理想のマイホームは？

サイドさん：生まれてくる子供のためにももっと広い家で暮らしたいですね。庭や畑付きの一軒家が理想です。ゆくゆくは混雑や騒音に悩まされない郊外に住みたいです。

アルマトイ

ジャンさんは水泳とサイクリング、ジャンナさんはキックボクシング、
一人息子もテコンドーをするスポーツ一家を訪問した。

家族構成：ジャンさん（夫／34歳）、ジャンナさん（妻／30歳）、子供一人

物件タイプ：マンション／築年数不明／持ち家

間取り：120m²

月額収入：1,700米ドル／中上級社会経済クラス（B）

※マンションや戸建て以外の全てを購入できる経済状況



■ ご自宅の魅力は？

ジャンさん：我が家の最大の魅力は、家族それぞれプライベートの空間が確保されていることです。6歳になった息子も、自分の部屋で過ごすことが好きなんですよ。

ジャンナさん：この家で私の一番のお気に入り、窓を開けたら山が一望できるキッチンです。息子が生まれる前から、夫と山を眺めつつコーヒーを飲んで過ごしたので、私たち夫婦にとって一番馴染んだ特別な空間です。窓の縁は大理石でオーダーメイドしたんですよ。予算オーバーしましたが、大満足しています。

■ ご自宅の問題点は？

ジャンナさん：私は今の住まいに満足していますが、欲を言えば広いバスルームが欲しかったです。音楽を聞きながらゆっくり入浴することが長年の夢だったのですが、この家のバスルームではちょっと無理ですね。

■ 理想のマイホームは？

ジャンナさん：今の家はマンションですが、理想は木造の一軒家。2階にバルコニーがあれば最高です。明るい色の壁紙、滑らかな寄木細工の床、オリーブ色の家具セットでコーディネートします。夫の好みではないですが、キリムも敷きたいですね（笑）。

余暇の過ごし方



© kzw / Shutterstock, Inc.

商業都市として発展するアルマトイや4つの大学を抱える文化都市のアスタナでは、カフェやレストランが一つの交流の場となっている。週末などの余暇の時間を友人や家族とカフェで過ごす人も多い。他にはスポーツも人気で、2004年のアテネオリンピックで収めた5つのメダル獲得の好成績を皮切りに、カザフスタンのスポーツ熱はさらに高まった。特に人気のスポーツはサッカーや競輪、ボクシング、アイスホッケー、フィギュアスケートなどで、サッカーや競輪、ホッケーはプロリーグ

の観戦も人気だ。2012年ロンドンオリンピックでは、メダル受賞数11位の日本に続き12位になるなど、健闘を見せた。統計からも、教育・文化活動に費やす時間の5倍の時間をスポーツ活動に割り当てていることがわかる。最近ではフィットネスクラブが注目を集めている。ジムで身体を動かす人や、ヨガ、ピラティスで汗を流す女性も増えている。フィットネスクラブは年会費制で30万テンゲから40万テンゲと決して安くはないが、運動不足を懸念する都市部の人を中心に需要が伸びている。

余暇の過ごし方（アンケート対象：10歳以上／1日の平均）

	総合	都市	郊外	男性	女性
社会生活	34分	35分	31分	33分	35分
教育、文化活動	5分	6分	3分	5分	4分
スポーツ	23分	25分	20分	30分	17分
趣味活動（スポーツ除く）	23分	27分	14分	30分	16分
メディア	2時間11分	2時間9分	2時間14分	2時間30分	1時間56分

出所：余暇活動の国際分類統計 2012年

ブライダル産業



© Maykova Galina / Shutterstock.com

結婚式はカザフスタン人にとって特別なイベントであり、ブライダル産業は経済の影響を受けることなく順調に成長している。新郎新婦の家族をはじめ大勢が参加して何日も続くのが、カザフスタンの伝統的な結婚式スタイルだ。費用の相場は平均6,500米ドルだが、都市部のアル

マトイでは平均1万5,000米ドルと、大幅に上昇する。料理、飲み物の1人当たりの平均は40～200米ドルとかなり幅がある。1テーブル毎に装飾費として平均20米ドル、結婚式を盛り上げる必須アイテムの音楽や照明、ダンサー出演料は平均2,000～2,500米ドルにおよぶ。

出所：カザフスタン統計委員会、Tengrinews



ビジネスライフとキャリア



外国人労働者の多くは、カザフスタンを「チャンスの国」として注目しているようだ。「国外在住者インサイダー 2014」の調査によれば、カザフスタンで就労する外国人の75%は収入に満足しており、自国より高水準の収入を得ているという。カザフスタンの外国人労働者はCIS諸国からが中心で、18～45歳の男性が大多数を占め、女性労働者数は全体の4分の1ほどに留まる。労働者全体の15%は労働許可証を持つ正規労働者として、農林業、建設業、鉱業、製造業、不動産業、商業、サービス業に就労しているという。残りの85%は非合法で、建設業や家事サービス業に従事する人が多いという。2015年の外国人労働者数は、カザフスタン人口の0.7%にあたる6万3,000人で、上位5位は中国(1万3,373人)、トルコ(4,844人)、ウ

クライナ(1,620人)、ウズベキスタン(1,303人)、インド(1,235人)だった。保健社会開発省によると、2016年1月1日以降、3万2,400件の外国人労働許可証が発行された。

2015年の就業者数は862万人で、そのうちアスタナは46万6,000人、アルマトイは83万8,000人だった。月額平均給与は12万6,021テンゲだが、アスタナでは18万9,970テンゲ、アルマトイでは16万1,845テンゲとなった。アスタナでは就労者数の最も多い分野は建設部門で、次に小売部門が続く。アルマトイは最も多い分野が卸売・小売業部門で、次に教育部門と工業部門が続く。



外国人労働許可証発行数(2016年)

第1 カテゴリー(上級幹部、高官)	1,987 件
第2 カテゴリー(経営者)	5,958 件
第3 カテゴリー(専門家)	13,968 件
第4 カテゴリー(有資格労働者)	10,450 件

出所：国際在住者インサイダー 2014、Migration Profile Light、カザフスタン保険社会開発省

地域別就労分野一覧(2015年)

	カザフスタン全体 (単位：1,000 人)	アスタナ (単位：1,000 人)	アルマトイ (単位：1,000 人)	月額平均収入 (単位：テンゲ)
合計雇用者数	8,623.8	466.1	838.7	—
農林水産業	1,553.4	3.7	1.7	72,507
工業 (鉱工業、製造業、電気産業、水道業他)	1,083.7	29.9	82.4	174,436
建設業	689.5	73.4	69.8	154,794
卸売・小売業	1,260.9	49.2	188.3	121,020
運送・倉庫業	619.5	30.2	53.0	166,057
施設・フードサービス業	174.2	15.4	19.4	116,503
情報通信業	151.7	21.4	34.8	180,828
金融保険業	195.1	14.6	49.5	236,689
不動産業	94.2	16.7	19.6	109,318
専門科学技術業	221.3	26.9	59.1	255,216
行政支援サービス業	234.3	29.6	41.3	102,180
行政・防衛業：社会保障	470.8	39.8	31.9	107,924
教育	1,012.8	39.4	85.0	77,542
健康・社会福祉事業	455.3	33.6	54.1	91,902
アート・娯楽・ レクリエーション業	127.3	13.7	15.7	95,210
その他のサービス業	279.5	28.6	32.8	202,769

出所：カザフスタン統計委員会

教育

カザフスタンの義務教育は7歳から17歳の11年間で、公立学校の授業料は無料だ。公立学校ではロシア語とカザフ語で授業が行われる。昨今は、外国語教育（特に英語とトルコ語）を進める私立学校の人気が高まりつつある。ただし私立学校は増加傾向にあるといっても、カザフスタンの全学校数のうち1.4%にしか満たず、学生数は全学生の0.8%と、私立学校進学は非常に少数派となっている。私立学校はオリジナルの授業カリキュラムで運営するため、政府の資金援助はない。しかし、高額な費用の私立学校も選択できるよう、政府は無利ローンなどの奨学金制度を整備している。

放課後は習い事や学習塾へ行く子供が多い。習い事の種類はチェス、ピアノ、伝統楽器ドンブラ、スポーツ（ダンス、サッカー、格闘技、空手、柔道、競輪、水泳、テニス、新体操など）と多岐にわたる。テニスやバレエ、新体操、プロチーム傘下のサッカークラブの月謝は1万から2万テンゲが相場だ。子供の時から習い事や学習塾に通うことで規律などを学び、心身ともに成長につながると考える親が多い。学習塾は大人数の講義タイプではなく、個別の家庭教師タイプが一般的である。生徒の家や先生の家で授業が行われる。特に最近は英語学習に力を入れる親子が増えている。



© kzw / Shutterstock, Inc.



© kzw / Shutterstock, Inc.

カザフスタンの公立学校（2016年度）

	学校数	学生数 単位：1,000人
公立初等学校	7,059校	601.5人
公立中等学校	7,160校	2,724.1人
夜間公立中等学校	79校	14.3人
公立技術・職業高校	453校	285.1人
公立高等学校	50校	216.9人

出所：IAC

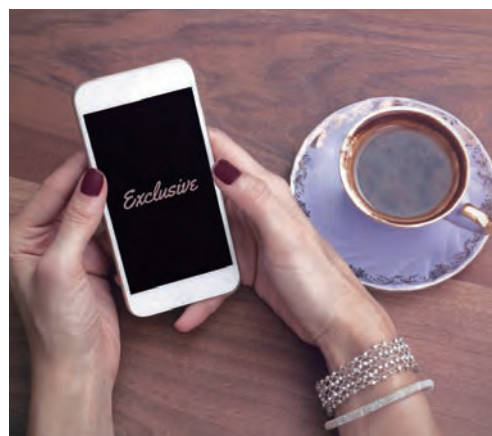
カザフスタンの私立学校（2012～2013年度）

都市	合計	初等学校	中等学校	高等学校
アスタナ	12校 (3,095人)	1校 (76人)	2校 (269人)	9校 (2,750人)
アルマトイ	42校 (9,218人)	4校 (206人)	6校 (961人)	32校 (8,051人)
カザフスタン 全体	109校 (18,559人)	17校 (789人)	10校 (1,417人)	82校 (17,089人)

※括弧内は生徒数

出所：カザフスタン教育科学省、情報分析センター

富裕層専用サービス



銀行では大口預金、大口投資がある客に対し、プライベート・バンキングをはじめ、各種の特別なサービスを提供している。中でも富裕層の嗜好を反映させた商品として注目を集めたのは、Sber銀行で発行された金・ダイヤモンド・パール素材のクレジットカードだ。純金を土台に26粒のダイヤモンドと真珠母細工で装飾された世界初のクレジットカードは、入会金10万米ドルと年会費2,000米ドルを条件に、限定100枚が発行された。カード所有者は、25万米ドルの生命・健康保険をはじめ、世界中の空港VIPラウンジ利用、五つ星ホテルやレストラン、レンタカー割引など多様なサービスを利用できる。



出所：Cpp-luxury

健康



©Vladimir Konstantinov / Shutterstock, Inc.

ソビエト連邦崩壊以降の経済崩壊のあおりを受け、医療サービス関連費用に関する国家予算は大幅に縮小された。その結果、医療費の負担が国民に大きくのしかかり、大きな問題となった。政府は国民の健康と保健システムを向上させるため、世界銀行が支援する改革パッケージ「2005～2010年保健サービス改革と発展・国家計画」、「2011～2015年サラマトゥカザフスタン国家保健サービス発展計画」を活用した。これは国民の健康第一を目的にした、国民保健システムの改良、医療発展の強化計画である。現在、カザフスタンの医療サービスは保健省管轄下で提供されている。医療産業の80%は保健省管轄、20%は民間で構成されている。2015年現在、カザフスタンには901軒の病院があり、31軒はアスタナで、76軒はアルマトイで開業している。医師数は6万9,722人で、アスタナで7,604人、アルマトイで1万2,720人が医療に従事している。保健省管轄内の病院では、緊急サービスや診察、治療、医薬品が無料で提供される。

出所：カザフスタン統計委員会、トルコ保健省「カザフスタンレポート」

1年間の一人当たり平均医療費用（単位：テンゲ）

2014年	2015年
4,829	6,998

各種医療サービス平均料金（単位：テンゲ）

	2014年	2015年
初診	1,543	1,792
超音波検査	2,013	2,173
血液検査	673	725
デンタルサービス	2,326	2,603
マッサージ1度毎	649	755
サナトリウム1泊	8,026	8,596

出所：カザフスタン統計委員会



老人介護



家族に重きを置くカザフスタンの伝統文化では、両親の介護は子供の義務という認識が高い。そのため、老人ホームなどのケアホーム数は少なく、十分に普及していない。

年齢別人口（2015年）

合計人数	17,417,673人
0～9歳	3,441,762人
10～19歳	2,358,009人
20～29歳	3,119,368人
30～39歳	2,575,412人
40～49歳	2,160,756人
50～59歳	1,923,860人
60～69歳	1,070,732人
70～79歳	574,276人
80歳～	193,498人

※カザフスタンの平均寿命は74.7歳（2015年）
出所：カザフスタン統計委員会、WHO

老人ホーム数（2015年）

全体 93 件
（アスタナ 2 件、アルマトイ 3 件）

要介護者数（2015年）

全体 19,205 人
（アスタナ 557 人、アルマトイ 968 人）

出所：カザフスタン統計委員会



ASTANA & ALMATY STYLE
BUSINESS

外国資本の起業、法整備等

企業進出を促す条件

世界銀行グループの調査 Doing Business (2017) によると、カザフスタンはビジネスがしやすい国として世界190カ国のうち35位にランクインした。起業時の手続きや費用が少ない点が評価されている。他にも、外国企業の法人税優遇やビザ免除といった法整備を進めており、日本からの企業進出も期待される。

1. 外資企業への規制

企業の業種、規模、形態に原則規制は見られず、外資企業の投資誘致に力を入れている。しかし石油や天然ガス、資源関連の外資企業の参入は政府の許可が必要。

2. 法人税と付加価値税 (VAT)

法人所得税は20%、付加価値税 (VAT) は12%。

3. 企業設立まで

① ビザ申請

外国人は商業ビザの取得が求められる。日本に居住する日本人の場合は在日大使館へ所定の書類にて申請するが、就業形態や期間に基づき細かくビザの種類が分類されているので注意が必要。カザフスタン国内ではビザの延長はできない。

② 会社設立形態

カザフスタン投資誘致機関 (KAZNEX INVEST) の区分を用いると、企業の形態は株式会社、有限責任事業組合、駐在員事務所の3種類に分類される。会社設立方法としては右表のとおり。

株式会社 (JSC)	最低出資額の規定は113億テンゲ (約3,580万米ドル)。設立は1名以上の株主で可能。
有限責任事業組合 (LLP)	最低出資額の規定は100テンゲ (約0.3米ドル)。設立は1名以上で可能。
駐在員事務所	資本金は不要。商業活動は出来ない。

③ 主な流れ

所定の申請書などは全て、各州のワンストップ窓口である Public/Population サービスセンターへ提出する。書類に不備が無ければ、提出した翌日には州から登記済証が発行される。近年はインターネットでの提出も可能で、より迅速に登記済証を受け取ることが出来る。

登記済証取得後は社印の作成や口座の開設、VAT 支払い登録などの手続きを行う。また雇用主は被雇用者の健康保険料を支払う。雇用者の健康保険に関する手続きは、州から登記済証を受け取った後10日以内に行う。

■ 許認可について

会社登記後は業種によって製造、販売の許認可取得が必要となる。例として ①食品、②化粧品、③アルコール飲料、④医薬品および医療機器の分野で必要な書類やライセンス、検査などを以下にまとめた。

なお以下に記載される「EEU 域内」とは、ユーラシア経済連合 (カザフスタン、アルメニア、キルギス、ベラルーシ、ロシア 5カ国の地域経済同盟) 域内を指す。①食品、②化粧品、③アルコール飲料は EEU 域内にて共通のルールが適用される。④医薬品および医療機器については共通ルールがまだ施行されていないため、カザフスタン独自のルールに基づく。該当地域内で初めて製造、販売される製品に適用される。

製造および販売	EEU 域内共通のルール			カザフスタン独自のルール		
	製品の登録 ^{*1}	適合証明書 ^{*2}	適合宣言書 ^{*3}	ライセンス	製品の登録	適合証明書
① 食品 a. 一般的な食品 (酢、非加工肉 ^{*4} 、 機能性食品を除く)	×	×	○ ^{*5}	×	×	×
b. 幼児食、機能性食品、 サプリメントなど	○	×	×	×	×	×
② 化粧品	×	×	○	×	×	×
③ アルコール飲料	×	×	○	○ ^{*8}	×	×
④ 医薬品および 医療機器	×	×	×	○ ^{*9}	○	○ ^{*10}

※1: 国民経済省所管の消費者権利保護委員会にて登録。検査も含めて約2カ月要する。※2: EEU 経済委員会が定める認証機関へ申請を行い、証明書発行を依頼。最短でも約2週間はかかる。※3: 製造者、販売者自身が規格に適合するか判断し、適合宣言書を作成する。製品によっては研究所などの検査結果が必要な場合もある。ただし作成が困難な場合は、EEU 経済委員会が定める認証機関に書類の作成を依頼できる。

※4: 酢は EEU 共通ルール適用対象外のため、カザフスタン独自の認証取得が求められる。非加工肉についてはカザフスタンが発行する衛生証明書が必要。※5: 2018 年以降イクラやキャビアなどの魚卵、甲殻類の缶詰などは別途第三者機関の証明書を求められる予定。※6: 2017 年末までは冷凍魚、キャビアなどはカザフスタン独自の適合証明書が必要。

※7: 乳幼児用のスキンケア製品や美白関連製品、刺青など肌へ多大な影響を及ぼす製品は登録が必要となる。

※8: 財務省へ申請書類を提出する。製造、販売形態によって4種類に分類される。取得まで3週間程度、製造ライセンスは約2万米ドル、卸売と小売りのライセンスは約720米ドルを要する。

※9: 地方の官庁支所へ申請書類を提出する。製造、販売によってライセンスの種類は異なる。取得まで何れのライセンスも3週間程度、約720ドルを要する。※10: National center for expertise of drugs, medical devices and medical equipment (NCED) が指定した検査に合格すると販売可能な製品として Medical and Pharmaceutical Activity Control Committee より認証が発行される。認証発行後 NCED が製品を登録する。検査、登録にかかる時間は210日以内。

※○は当該手続きが必要、×は手続き不要を意味する。※2017年2月末日現在

■ ラベル表示について

EEU域内のルールが適用される場合は、製品のラベルにEACというマークを表示する。カザフスタンで製造された製品にはGOSTKというマークを表示する。

EACマーク（以下のいずれかを使用）



出所：EEU 経済委員会ウェブサイト

GOSTK マーク



出所：Intergost ウェブサイト



4. 貨物の物流

内陸国カザフスタンの主要な4つのルートを紹介する。

シベリアランドブリッジ (SLB)

シベリア鉄道を基盤とした輸送ルート。カザフスタンのドスティクやアルマトイと日本を結ぶ。

チャイナランドブリッジ (CLB)

中国の連雲港からカザフスタンのドスティクまでを結ぶ。カザフスタンと東アジア諸国との輸送は、SLBに比べて距離が短く輸送費を抑えられる利点はあるが、両国間のレールの間隔が異なるため、国境を超える際に台車の積み替えが必要となる。日本との物流では最も基幹的なルート。

欧州ルート

リガ、タリンといったバルト諸国の港やサンクトペテルブルクを経由し、トラックおよび鉄道輸送で運ぶ。バルト諸国経由の輸送はEUの規定が適用されるため、保税や通関の手続きが簡便という利点がある。

イランルート

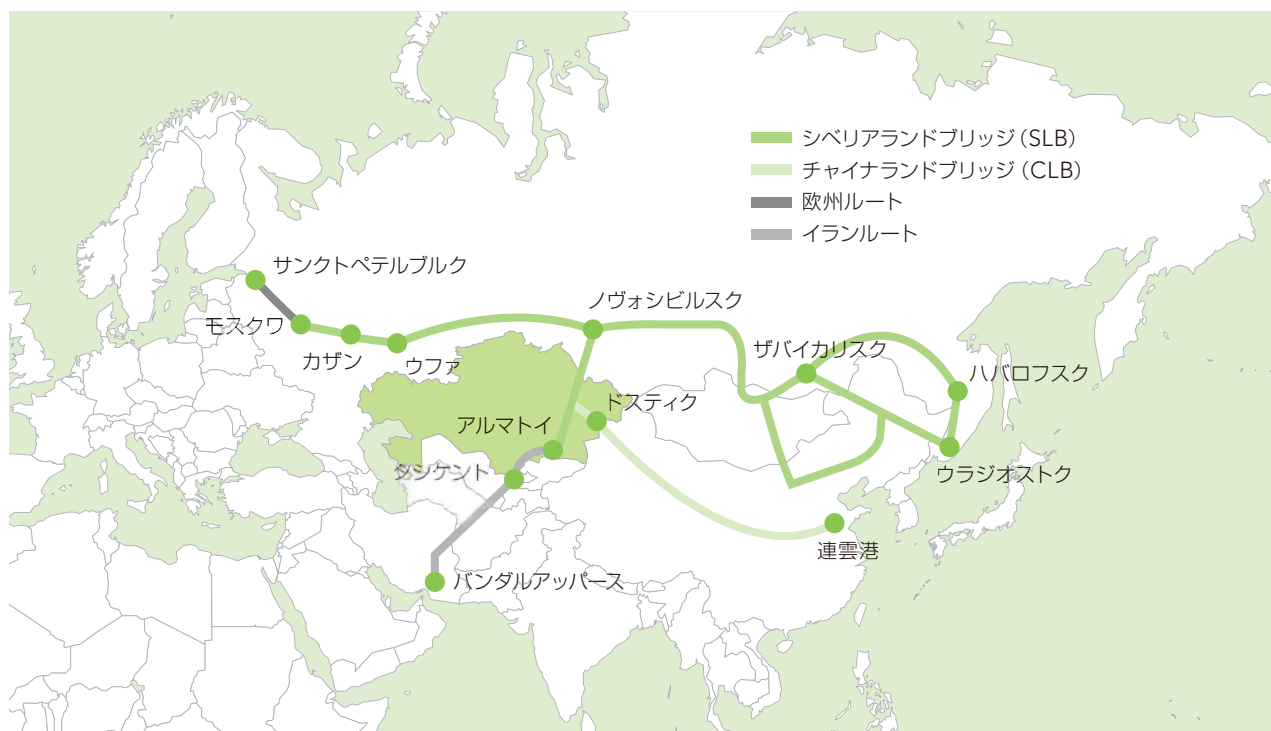
イランのバンダルアッパース港を利用する輸送ルート。カザフスタン南部へ向かうトラック輸送と組み合わせることが多い。

日本からカザフスタンに40フィート貨物を輸送する際の価格と所要日数

	ルート	コスト	所要日数
SLB	日本 → ウラジオストク → アルマトイ	11,000 米ドル	45 日
CLB	日本 → 連雲港 → ドスティク → アルマトイ	8,000 米ドル	30 日
イランルート	日本 → バンダルアッパース → アルマトイ	16,500 米ドル	60 日

※ 2017年2月末現在。欧州ルートは海上輸送時の船会社によって価格が大幅に異なる。

出所：ジェトロセンサー、通関企業ヒアリング調査



日系企業の最新動向

東（あづま）海運

アルマトイにて駐在事務所を設立（2016年7月）。

伊藤忠商事

KMEW社から卸・販売中の外壁材がアスタナの都市開発へ使用されることとなった。

INPEX

2016年10月、カシャガン油田の陸上プラントから原油出荷を開始。

トヨタ

2016年10月、現地企業資本によるディーラーをアスタナに開設。カザフスタン全域で14店舗目となる。

豊田通商

日野トラックの輸入代理店、Hino Motors Kazakhstan（代理店）をアルマトイに開設。現地企業との合併。

東京製綱

2016年11月、アルマトイの現地法人工場が操業を開始。

マキタ

製品や部品供給の迅速化、アフターサービス強化および中央アジア諸国市場開拓を目的として現地法人設立（2014年10月）。

三井物産

米国デュポン社より買収した果樹・野菜向け農業をカザフスタンで販売開始。

三菱東京UFJ銀行

2016年11月、投資機関KAZNEX INVESTとMOUを締結。

日系企業の活動範囲はアスタナ、アルマトイが中心



- ① 豊田通商の日野トラック代理店事業拠点
- ② INPEX カシャガン油田プロジェクト拠点（INPEX アティラウ事務所）
- ③ 豊田通商の農業事業拠点
- ④ トヨタ販売店：トヨタ、豊田通商、TOYOTA FINANCIAL SERVICES が関わる
- ⑤ 東芝ウラン鉱山
- ⑥ 三井物産のKOMEK（コマツ製建設・鉱山機械等）代理店事業拠点
- 東海運：カザフ全域

アスタナおよびアルマトイにおける

主な日系企業（五十音順）

東海運、伊藤忠商事、INPEX、KOMEK MACHINERY Kazakhstan、JT International、住友商事、SONY、東芝、トヨタ、豊田通商、TOYOTA financial services、日新、マキタ、丸紅、三井物産、三菱東京UFJ銀行

アスタナで働く日本人の生活環境



© Alexey_Arz / Shutterstock, Inc.

居住区域、商業施設

日本人駐在員が居住する場所は、韓国系企業やトルコ系企業の建設した高層マンションが中心。特に韓国系企業が設立した「ハイビル」と呼ばれる高層建築群は、日本人をはじめ外国人駐在員に人気が高い（P13 地図参照）。オートロック、ウォシュレット付きトイレ、床暖房はもちろん、敷地内にレストランやスーパーマーケット、スポーツジム、託児所も併設され、利便性の良さが人気の理由として挙げられる。同ビル内のスーパーマーケットは豚肉や醤油といった食材も購入できるため、居住者以外の日本人にもよく利用されている。

服装

10月半ばから3月半ば頃まで氷点下の気温が続くため、バザールで現地仕様の防寒具（帽子、コート、冬用ブーツ）を購入する日本人が多い。特に真冬は日本の防寒具では太刀打ちできず、南極地域観測隊用の衣服を着用する人も居るようだ。雪や路面凍結が多く冬のブーツは欠かせないアイテムといえる。

住宅環境、余暇

昔は湿地帯だったため水はげが悪いことや蚊が多いこともあったが、現在はほとんど問題ない。上下水道や電気も整備されている。週末はテニスやボーリング、スケート、映画といった余暇活動に加え、現地の人と乗馬を楽しむ駐在員もいる。



© freedarst / Shutterstock, Inc.

アルマトイで働く日本人の生活環境



© Veniamin Kraskov / Shutterstock, Inc.

居住区域、商業施設

日本人駐在員が居住する場所は、サマル地区という比較的新しいエリアが中心（P15 地図参照）。大型ショッピングモールやスーパーマーケットが隣接し、利便性も高い。また、サマル地区は地元の人々から「山側」と呼ばれる南側のエリアに位置し、街中から見える天山山脈が美しい。

服装

お洒落に気を使う人が多く、女性は華やかな印象を受ける。イスラム教の戒律の一つである肌の露出には比較的寛容である。

住宅環境、余暇

水、電気などのインフラ設備が古いため、エリアによっては一時的に断水や停電になることもある。一方、自然が非常に豊かで、雪解け水を引水しているため水の品質は良い。週末にテニスやゴルフなどスポーツを楽しむ駐在員は多い。



アスタナ・アルマトイ共通の生活環境



©kzww / Shutterstock, Inc.

食事

基本的には肉料理がメイン。夏と冬の寒暖差が激しく気候が厳しいため、葉物野菜は輸入が多い。レストランは各国の料理があり、庶民的なものから高級なものまで選択肢が豊富である。イスラム教徒は飲酒と豚肉は禁じられているが、アスタナやアルマトイではお酒や豚肉料理を楽しめるレストランは多い。日本人がイスラム教を意識する場面も少ないようだ。ただ、豚肉を入手できる場所は韓国系のスーパーや、特定のショッピングモールに限定されている。韓国系スーパーではわさびや海苔といった日本食を購入できるため、駐在員から重宝されている。

宗教上の留意点

■ 断食

普段敬虔なイスラム教徒でなくとも、断食を行う人が増えてきている。断食中は夜明けから日没まで水も食事は一切取らないため、目の前で飲食は慎む方が望ましい。ただ、断食中に目の前で飲食されたとしても気分を害する人は少ないようだ。飲食店は普段通り営業しているところが多く、日本人にとって断食期間に受ける制約はほとんどない。

■ 礼拝

モスクにて祈ることが一般的。事務所内に礼拝スペースを設置していない日系企業がほとんどであり、現地のスタッフからも設置は要望されないことが多い。

その他：治安

他の CIS 諸都市に比べて安全と言われるが、2016 年にはイスラム過激派に関連したテロ事件があった。たとえ治安が良くても夜間の一人歩きは避ける、貴重品の管理は徹底するといった最低限の対策は必要。女性でも安心して過ごせると言う駐在員が多い。

駐在員からのアドバイス

カザフスタン人と日本人は容姿が似ており、日本の技術や経済発展を尊敬する親日的な人も多い。家族や友人と集まって賑やかに過ごすことが好きな国民性で、日本人も歓迎してくれる。週末はスポーツや映画、読書など自分の居場所を仕事以外に見つけ、余暇の時間も楽しむことが大切。また冬のアスタナはマイナス 40 度になることもある。防寒対策は油断せず、しっかりと行った方がよい。



©kzww / Shutterstock, Inc.



Nobuyuki ARAKAWA

豊田通商株式会社アルマトイ事務所長 荒川宣之さん



「オールジャパン」として ビジネスに取り組めるカザフスタン

進出日系企業の中でも、いち早く活動してきた豊田通商。
現地に溶け込む秘訣と日系企業としての役割、そして
カザフスタンのビジネスチャンスとは何か、荒川宣之さんに聞いた。

貴社のこれまでの活動について教えてください。

1993年にトヨタ車の輸出、販売の活動を開始しました。1998年にトヨタ車販売を目的とした合併会社を設立し、その後アルマトイ、アティラウと販売施設を開設。2005年には正式にディーラーとしての販売活動を開始しました。現在のアルマトイ事務所は2007年に新しく開設したのですが、開設後は2009年に豊通フェアという展示会を開催するなど、積極的な活動を行って

きました。そして2014年にはトヨタ自動車による「フォーチュナー」生産プロジェクトに参加。さらに同じ年に、日本企業として初めての合併による農業生産事業をスタートさせました。2016年にはカザフスタンのパートナーとの合併で Hino Motors KZ (代理店) を設立し、新たにトラックの販売も開始したところです。

自動車分野をはじめ次々と事業の拡大を進められていますが、今後貴社はど

のような展望をお持ちでしょうか。

2015年10月の安倍首相によるカザフスタン来訪と、2016年11月のナザルバエフ大統領の訪日を受けて、二国間の関係がますます発展しつつあります。その流れをまさに今、肌で感じているところです。官民連携型の経済会合も活発になってきており、特にインフラ事業に対して国の強い期待が寄せられています。我々も情報通信分野や交通網といったインフラ産業への貢献を目指し、活動を始めているところです。

また自動車分野に関しても、既存のビジネスで培ってきた経験とネットワークを最大限活用し、当社らしい新たな取り組みや価値創造を今後も実行していきたいと考えています。

一方でどの分野についても言えますが、カザフスタンのような新興国において日本の独自の仕様や魅力である「ジャパン・スペック」は、簡単にビジネスとして受け入れられるものではありません。その国の需要にどれだけ適した提案を行えるか。中国や韓国など、日本より物理的に近い競合国も存在する中で、時間をかけて丁寧に、そして粘り強く日本の技術や製品の提案を説明していく姿勢が非常に重要だと考えています。

カザフスタンへ赴任後、予想外だったことや大変だったことをお聞かせ下さい。

赴任直後の2015年春以降、原油相場の停滞がこの資源国を直撃し、経済成長の著しい減退が見られました。同じ年の8月には通貨テンゲが変動相場制へ移行し、通貨の価値がわずか半年で約半分にまで切り下がりました。激動でしたね。当然とも言えますが、国の通貨の価値が低下し不安定な訳ですから、社内外のカザフスタンを見る目は厳しくなります。ビジネスを進める上では、非常に苦しい時期であったと言わざるを得ません。当社の事業関連でも、現地の銀行との融資交渉など様々な苦労を経験しました。

既に底を打った感はあると思いますが、いまだに厳しい経済環境は続いていると思います。この状況下で、いかにビジネスの材料を発掘し可能性を日本に伝えていけるか。この部分が最も苦労している点でしょうか。カザフスタンの経済状況の悪化は、他の日本企業にとっても同様に苦しい話です。一企業としてだけでなく、日本企業の皆さん、もっと言えば国民が一体となり「チーム・ジャパン」でこの状況を乗り越えなくてはならない、と強く感じています。

「この状況を乗り越えなくては」と思えるのは、カザフスタンに商機や何か魅力があったからでしょうか。

カザフスタンは先ほども述べたよう



に、確かに原油価格の低迷を受け、現在は経済的に苦しい環境下にあります。しかし大統領も明言しているとおり「脱資源国家」を目指しており、今後は様々な分野において商機が巡ってくるでしょう。経済が回復基調になればさらなる成長が期待できる新興国でもあり、将来の可能性が非常に高い魅力的な国だと考えています。日本ブランドへの信頼度も高くとても親日国で、潜在的なビジネスチャンスの多い国です。将来を見定め、中・長期的なスパンでどっしりと腰を据える価値のある国だと思っています。

最後に、カザフスタン進出を目指す日系企業にアドバイスやメッセージがあればお聞かせ下さい。

今まで申し上げたとおり、カザフスタンは現在決して順風満帆な経済環境にはありません。しかしビジネスに真剣に取り組むことで今後様々な商機を見出せる、高い可能性を持った新興国だと思います。各企業の皆さんともそれ

ぞれの目線でしっかりと市場を見極め、現地のスタッフや良いパートナーとも一体となって、この「チーム・ジャパン」を盛り上げていければと思います。

現在、カザフスタン在住の日本人はわずか150名ほどで、日本の商工会会員も20社強といまだ規模は小さいです。けれどもその分、日系企業同士のまとまりの良さや一体感、応援しあう姿勢は、他国にはない魅力の一つです。これら企業の皆さんが一丸となってカザフスタンの経済に貢献しようと日々努力しています。

今後もより多くの企業の皆さんの「チーム・ジャパン」へのご参加をお待ちしております。

PROFILE

1990年にトーメン入社。以来、一貫して食糧関連業務に従事。2001年から2005年にかけて米国シカゴに駐在。2015年にカザフスタンへ赴任し、アスタナおよびアルマトイ事務所長として中央アジアを管轄している。



Yukio YOSHIDA

東海運株式会社アルマトイ駐在事務所長 吉田行男さん



日本企業を輸送面でサポートし 物流を通じて人と人を繋ぎたい

2016年7月にアルマトイでオフィスを開設した東海運株式会社。
事務所開設を決断させたカザフスタンの強みとその道のり、
そして今後の事業展開について、吉田行男さんに聞いた。

貴社の活動内容について教えてください。

当社は総合物流サービスの企業です。カザフスタンには2016年の6月29日に事務所登記を行ったばかりで、まだ新設の駐在事務所です。元々、ソ連時代から四半世紀以上にわたりロシアやCIS諸国の物流輸送を行ってきました。カザフスタンへの物流事業は20年近く続いており、日本から油井管や鉱山採掘機器、建設機械などの大型貨物と、援助案件貨物の輸送実績があります。

また最近では、一般雑貨の輸送業務も

増加しつつあります。中国やロシアの製品に加えてトルコからオリーブオイルの輸入も目立ち、日用品や消費財の輸送需要は確実に増えているように思います。多岐にわたる商材の輸送業を行っていますが、本社の営業部署に加え、ロシアのモスクワや中国の上海、青島、モンゴルのウランバートルの既存海外拠点と連携しつつ活動しています。

最近事務所を設立されたとのことですが、貴社のカザフスタン進出のきっかけは何でしたか。

は何かでしたか。

当事務所が設立されるまでは、2006年に開設されたモスクワ駐在事務所がカザフスタンを管轄していました。カザフスタンへの輸送業は基本的には出張者が現地へ訪問し、従事してきました。しかし近年、中国内陸部を基点とした中央アジア経由中東欧行の貨物の流れや、EU諸国への物流網整備の重要性を感じ、中央アジアに事務所を設置する案が出ました。最終的にカザフスタンの決め手となったのは、中央ア

ジアの特殊性を踏まえ、同国が制度的に最も事務所を構えやすかったからです。カザフスタンという国の立地や物流網、物流施設が今後ますます重要となることが予想されます。

今後のカザフスタンでの展望や、カザフスタンに期待することをお聞かせ下さい。

まずカザフスタンに期待することですが、個人的には市場価値のとても高い国だと思います。近年の原油価格の低迷により、カザフスタンの経済状況は悪化しました。しかしその現状を経て、天然資源に依存した経済体制から脱却を図ろうとしています。外国投資誘致政策もその一つだと感じますし、実際に私たちもカザフスタンへ駐在所を設置致しました。この状況下で日本との貿易取引が増加すれば、物流事業にとってもより良い環境へと変化するのではないのでしょうか。

次に今後の展望ですが、来年のアスタナ国際博覧会のテーマでもある、エネルギーや環境分野に需要があるのではと感じています。実はカザフスタンの特にアルマトイは、近年空気が悪くなったと噂されています。私自身は2016年の夏に来たので変化は分かりませんが、自動車も増加し、大気汚染の問題もあるようです。この環境の分野で、日本の技術を生かすチャンスがあるように思います。水の浄化や大気汚染予防への貢献が求められているのではないのでしょうか。例えば今お話した環境の分野で当社が資材や設備を輸送し、日本企業をサポートする、そのような構想を抱えています。

また、物流は単なるモノの輸送ではなく、人と人の繋がりを深める役割も担っていると感じます。当社の現地での提携先や実際の輸送事業者を始め、日本企業全体で一体となり、カザフスタンでのビジネスを上げたい、そう考えています。

カザフスタンにいらして数か月経過しましたが、アルマトイやアスタナに初めて来て驚いたことや印象的だったことがあればお聞かせ下さい。

私はアルマトイに初めて来たときに、50年前の日本を思い出しました。国民性なのか、皆さんの人柄が本当によく、



アパート内でも挨拶をし合う。コミュニティの基盤がしっかりしているように感じ、50年前の日本を思いました。ただ、生活面ではロシア語が主体なので、ロシア語が出来ないと苦労します。ローカルスタッフに関して言えば、やはり日本式のハウレンソウ（報告、連絡、相談）を求めると困難も多いです。報告せずに勝手に進める場合もあるので、何度も注意したり反省させる機会を設けたりしています。しかし前述の通り、人柄はとても良く、親日的で住みやすい場所だと感じます。

最後にカザフスタン進出を目指す日系企業にアドバイスやメッセージがあればお聞かせ下さい。

アドバイスとしては二つあります。一つ目は将来的なことも考えて、「目先のことだけにとらわれず、長期的な視点に基づいて進出することが非常に重要」ということです。日本企業の決断は遅いと言われるかもしれませんが、周到な準備なくスピードだけを重視して進出すると、撤退のリスクも大きくなると思います。たと

え決断が遅いと言われても、一度進出したからには粘り強く、カザフスタンで長く活躍できるよう、長期的な視点で取り組むことが大切です。

二つ目は「来てしまえば何とかなる、まずはやってみる」ということです。現地の法規定や法解釈は難を極め、諸手続きにはかなりの時間がかかります。それなりの覚悟が必要と言わざるを得ません。ですが、諦めずに周り助け合いながら進めば道は開け、結果的に何とかなると思います。私たちの会社は物流の企業ですが、実際の物流ルートは輸送してみて初めて開拓できることが多いのも事実です。何でもまずやってみる、その姿勢が一番重要ではないでしょうか。

PROFILE

1996年に東海運入社。2010年には国際複合輸送（NVOCC業務）に所属、2011年は海外企画部付ロシア物流会社の日本総代理店へ出向した。日本とロシア、中央アジア諸国向けの輸送業務を担う。2016年5月にアルマトイ事務所の立ち上げを始め、同年7月よりアルマトイ事務所長として活動を開始。



Yuji IMAYO

Imayo Creation 代表取締役社長 / 建築家 今用雄二さん

デザインとは、誰かの夢を具現化すること 夢の具現化は、愛のあること

縁あってカザフスタンにて起業した今用雄二さん。デザインという手法を通じ、カザフスタンの方の夢や、より良い社会と自然環境の実現を目指しているという。今回はカザフスタンでのビジネスの醍醐味を聞いた。

貴社の活動内容について教えてください。

登記上のオフィスはアスタナから600km北東にあるパブロダール州ですが、活動の拠点はアルマトイが中心です。小人数ですがアスタナにもスタッフがあります。活動としては、都市計画から建築、インテリアまで、空間に関わるすべてのデザインです。身近な例で言えば、ユルタ（移動式住居）の外観をしたホテルが立ち並びリゾート施設や結婚式場、大学、空港などの建造物が挙げられます。他にもプロダクトデザイン、家

具、ファッション、音楽といったクリエイティブな活動も行っています。また最近ではナザルバエフ大学内の公園に、京都の龍安寺を模した日本庭園のデザインも担いました。カザフスタンに禅の瞑想やその他の日本文化を伝えられる施設ができたと思います。

多岐にわたって活躍されている今用さんですが、カザフスタンにいらした理由や経緯を教えてください。

1998年にナザルバエフ大統領が50

カ国の建築家に対し、アスタナの都市計画におけるコンペティションを呼びかけました。そのコンペティションに参加したのが、当時私も一員だった建築家・故黒川紀章のグループでした。最終的に我々、黒川のチームがコンペティションに優勝し、私もアスタナへ来ることになったのです。黒川の都市計画の仕事の特徴とも言えますが、都市計画のデザインと併せ、街の主要建築物のデザインまでを提案していました。私が主に担当したのは、アスタナの国際空港の計画

です。空港のデザインから施工、完成まで約5年かかり、何度も計画が頓挫しかけて苦戦したことを覚えています。

空港の完成後、一旦は日本に帰りましたが、2006年に再度カザフスタンへ戻り、2007年7月7日に Imayo Creation を立ち上げました。「7」はとても良い数字ですから会社設立は2007年7月7日にこだわりました。この地にまた戻ってきたのは、縁あってカザフスタンの女性と家族になったことが大きいですね。

カザフスタンで起業された後、携った印象的な事業をお聞かせ下さい。

2010年に着手した事業で、アルマトイに建設した乗馬のためのカントリークラブです。アラマラサンという山の中腹にあり、環境への配慮を重視したカントリークラブです。10ヘクタールの敷地のうち現在は6ヘクタール分が完成しており、2025年に完全竣工の予定です。

なぜ印象的かと言えば、施主にデザインの構想を聞いた時に1枚の詩をもらい、そこに施主の夢描いたイメージが言葉で表現されていたからです。そのコンセプトをしっかりと形に実現できたことに満足しています。我々建築家という仕事は、誰かの夢を具現化する仕事だと思います。この国の都市計画や空港デザインといった大きな案件には特に多いのですが、夢の具現化よりも権力者の闘争が入り込むためデザインとは別の次元で疲弊することもあります。ですが、このカントリークラブは非常に「愛のある」事業でした。やりがい報酬以上のものとして、建築家に戻ってきます。

また、このカントリークラブはリンゴ畑だった緑豊かな土地の上に造ったため、リンゴ畑のときの緑を上回る良好な自然環境造りに努めました。エネルギー問題に配慮した地熱活用の仕組みや、子供達が動物と一緒に遊べ、全ての生き物が元気になれるような仕掛けをふんだんに取り入れています。本音を言えば電気やガス、水などのエネルギーも全て敷地内で自給自足し、周りから独立した施設を造りたかったのですが、現在の社会のシステムでは難しいため「今できる最先端の技術」を取り入れました。

建築はその時代を反映するものです。以前は目立つ建築物を設計する建



築家も多かったですが、最近は自然と一体型のデザインが多く見受けられますよね。私自身も、常に自然との調和を考えてデザインしています。その際には「今ある技術で最善を尽くす」ことに力を注いでいます。今後も自由度が高く、未来につながる楽しい「愛のある」事業に取り組んでいきたいですね。

お仕事風景を拝見しても、スタッフの皆さんが楽しそうですね。ほとんど現地の方を雇用されていると思いますが、気を付けていることがあれば教えてください。

特に気を付けていることはありませんが、雇用の方法は誰かからの紹介に限定しています。カザフスタンの方々は友達付き合いが非常に深いため、人的ネットワークも強いと感じます。私の仕事も施主から施主へ紹介される、いわゆる口コミも多いです。カザフスタンは人をとても大切にする文化だと思うので、信頼できる人を紹介してくれることが多いです。

確かに時間や残業、年休の考え方など、日本人の感覚から見ると驚く部分もあるかもしれませんが、最終的には信頼関係だと思います。縛るのではなく、信頼して任せること。もちろん責任も伴いますが、信頼が人と人を正しく繋いでくれるのではないのでしょうか。

最後に、カザフスタン進出を検討している日系企業へ、アドバイスをお願いします。

カザフスタンは「自分が鍛えられる」国だと思います。海外で仕事をするリスクとも言えますが、予定通りに進む事業はまずありません。そのため自分でリスクを負い、仕事にも生活にも覚悟が必要だと思います。私は、予定通りに進まない時や驚いた時は「自分が鍛えられる時」だと思っています。自分の物の見方だけに捉われず相手の立場で物事を考えると、物事の見方はずっと広がりますよね。

また現地に住むためには、現地の文化に溶け込むことも大切です。基本的にカザフスタンの人々は日本のテクノロジーに憧れがあり日本最賃ですから、日本の人も過ごしやすいと言えるかもしれません。日本の人と共に一緒に何かを作っていきたい、そういう思いを持つカザフスタンの人も少なくありません。ぜひ日系企業の方もこの地でチャレンジし、自分を鍛えて貰いたいですね。

PROFILE

2000年に故黒川紀章のチームの一員としてカザフスタンへ渡航。2005年にはアスタナ国際空港を完成させ、サンクトペテルブルクスタジアムコンペでも優勝した。2007年には現 Imayo Creation を設立し、乗馬クラブ、アウルリゾートのデザイン、ナザルバエフ大学構内の日本庭園設計など多岐にわたって活躍する。



Daisuke KISHIGAMI

日本食カフェ・MOMO オーナー 岸上大輔さん



日本の文化も発信できる、 そんなカフェをつくりたい

日本人駐在員からも人気があり、お客さんの大半が
カザフスタンの人々だという日本食カフェ・MOMO。
オーナー岸上大輔さんに、人々を魅了するビジネスの秘訣を聞く。

カザフスタンへで出店されたきっかけを教えてください。

大学時代の1998年に1年間アメリカに留学したのですが、その時にカザフスタンからの留学生の友人ができたのがこの国との最初の出会いです。アメリカから帰国後の2000年に友人を訪ねてアスタナとアルマトイへ来ましたが、当時は物資も豊富でなく、カザフスタンでのビジネスなんて全く考えませんでした。実際にここで何かビジネスができれば面白いかなと感じ始めたのは、前職の

電機メーカー時代に出張で何度も訪れ、大きく変わっていく国の姿を目の当たりにしてからです。またその時に「畑違いだが、次にやるなら飲食業かな」と頭の中で漠然と思っておりました。

以前から「日本のパンは世界で通用する」と思っていたことから、2011年にパン職人の道へ進む決心をし、会社を退職。パン学校に通ったのち、横浜のパン屋で数年修行しました。その後ドバイの「ヤマノテアトリエ」という、日本のパンが大好きなオーナーの下で1年半ほど、マネー

ジャー兼職人として仕事をしました。

ドバイでも順調に仕事をしていましたが、将来的に海外のどこかで自分のお店を持ちたいと考えていたため、2014年にカザフスタンのパン市場を視察するため訪問しました。思っていた以上にお洒落な飲食店が多く、数は少ないもののフランス人シェフがプロデュースしたようなパン屋もあり、決して競争が楽な市場ではないと分かりました。その一方で日本人が経営している飲食店や日系の大手飲食店が進出していない

ため、工夫すれば上手く出来るのではと思います、お店を開くならカザフスタンだという思いを強く抱きました。それが2015年にスタートした、日本食カフェ・MOMOのスタート地点です。

非常に興味深いきっかけですね。ご自身の経緯を踏まえて、カザフスタンにパン屋を開店しようと思わなかったのでしょうか。

当初はもちろんパン屋を開くつもりでカザフスタンに来たのですが、じっくりここに住んでパン市場を見ると、価格帯の高いパンの売れ行きは決して芳しくない様子が分かり、パン屋の開店は難しいと判断しました。それであれば、サンドイッチ用の具材として作っていたコロケやカツを定食として提供し、手作りのケーキなども食べられる喫茶店のようなカフェを作った方が面白いのではと考えたのです。

現在は移転のためお店を閉めているそうですね。移転の理由は何でしょうか？

以前のお店は35m²の敷地で、基本的に私とアシスタントの2名で運営をしていました。有難いことに口コミでお客様もだんだんと増え手狭になったのと、換気扇の設備があまり良くなく、一部のお客様から「MOMOは、服に臭いが付いてしまうから行かない」といった声を聞き、移転を決めました。しかし移転先の良い物件がなかなか見つからず、現在は正直苦戦しています。以前の店はホテルの中のテナントだったので保健所とのやり取りもホテルが担当しましたが、自分で全部やろうとすると手続きが多くて大変です。出来ればかつてレストランだった店など居抜き店舗があればと思っています。

新しい移転先の店舗では、どのようにビジネスを展開される予定でしょうか？

以前のMOMOはカフェ用スペースに限りがあったので、次はもう少しお客様がゆったり出来る構造にしたいです。理想は、日本の本をたくさん並べブックカフェのようなお店にしたいと思っています。アニメ、漫画といったサブカルチャーも散りばめつつ、日本語が分からない現地の方でもそういった本を手に取り日本を感じていただく。MOMO



が日本文化の発信地的な役割を少しでも果たせたらと思います。日本の家庭料理を楽しみながら、日本について知識も深められる、そんな空間にしていきたいです。

また、メニューも増やしたいと思っています。MOMOに来るお客様は、実は7割ぐらいが地元の方です。残り3割くらいの方は日本人を含む外国人で、日系企業の駐在員を始め韓国企業の駐在員の方、各国の大使館から外交官の方々もよく来ていただいていた。カザフスタンの方にとっては、肉といえば鶏肉ではなく牛肉です。今は少ない牛肉のメニューを増やしたり、イスラム教でない方も楽しめるように豚肉やお酒を提供したり、多くの方が気軽に立ち寄ってくださるようなお店にしたいです。価格については元々学生でも来られるような手頃な値段にしていたが、その点是不変なつもりです。

最後にカザフスタン進出を目指す日系企業にアドバイスやメッセージがあればお聞かせ下さい。

カザフスタンには商機が多いと感じます。日本の赤ちゃん用のおむつなどは飛ぶように売れているようですし、値段が高くておいしいものを求める方は多いと感じます。富裕層も増加しています

し、なにより子供の数が非常に多いので、将来性のある国だと思います。また会社設立やビザの取得などは、予想外に手続きがスムーズで僕自身も驚きました。但しルールや法律が突然変わることが多いため、注意は必要です。

私は次のMOMOも、ここアスタナで可能な限り早く開店したいと思っています。MOMOを閉める際に「次の店舗決定後にご案内が必要な方」のリストを作成したところ、100名以上の方が名を連ね、今でも「まだですか?」というお電話を度々いただいています。早くお客様の声に応えなければと日々思っています。

カザフスタンの方は知的で教育レベルも高く、日本人のような控えめな方が多いと感じます。意外と恥ずかしがり屋な部分も日本人と共通しているかもしれません。日本人にとっては過ごしやすい、魅力的な場所ではないでしょうか。

PROFILE

2000年に初めてカザフスタンへ旅行。2001年には電機メーカーへ入社し、2005年にドバイの子会社へ出向。2008年から2010年にかけてカザフスタンへ出張を重ね、2011年には電機メーカーを退社、パン学校を経てパン屋で修行を始める。2013年にドバイのパン屋に就職。2015年からはカザフスタンのアスタナでカフェ・MOMOをオープン。

スタイルシリーズ 世界のライフスタイル

各都市スタイルシリーズは下記サイトよりダウンロードできます。
またスタイルシリーズの電子ブック版のほか、PC、スマートフォンやタブレットでもご覧いただけます。

www.jetro.go.jp/industry/service/style



ニューヨーク
アメリカ



トロント・バンクーバー
カナダ



ロサンゼルス
アメリカ



サンティアゴ
チリ



ダッカ
バングラデシュ

北米

ヒューストン・ダラス | 米国
ニューヨーク | 米国
ロサンゼルス | 米国
サンフランシスコ・日本食ビジネス特集 | 米国
シカゴ | 米国
マイアミ・オーランド | 米国
ホノルル | 米国
トロント・バンクーバー | カナダ

欧州ロシアCIS

パリ | フランス
モスクワ・サンクトペテルブルク | ロシア
ウラジオストク・ハバロフスク | ロシア
ワルシャワ・プラハ・ブダペスト |
ポーランド・チェコ・ハンガリー
マドリード・バルセロナ | スペイン
アスタナ・アルマトイ | カザフスタン

中南米

ブエノスアイレス | アルゼンチン
サンパウロ | ブラジル
リオデジャネイロ | ブラジル
サンティアゴ | チリ
リマ | ペルー
ボゴタ | コロンビア
カラカス (スライドショー) | ベネズエラ
カラカス | ベネズエラ
メキシコシティ | メキシコ



2017年2月28日時点作成中のものも含む。

中東

イスタンブール | トルコ
アブダビ・ドバイ | アラブ首長国連邦
テヘラン | イラン
リヤド | サウジアラビア

アフリカ (7都市)

アビジャン | コートジボワール
アディスアベバ | エチオピア
カイロ | エジプト
カサブランカ | モロッコ
ヨハネスブルク | 南アフリカ
ラゴス | ナイジェリア
ナイロビ | ケニア

中国・台湾・香港

上海 | 中国
長沙 | 中国
杭州 | 中国
大連 | 中国
重慶 | 中国
瀋陽 | 中国
青島・済南 | 中国
華東地域の主要7都市 | 中国
武漢 | 中国
西安 | 中国
アモイ | 中国
成都 | 中国
北京 | 中国
天津 | 中国
深セン | 中国
広州 | 中国
香港 | 香港
台北 (スライドショー・
日本食ビジネス特集) | 台湾
ソウル | 韓国

東南アジア・南アジア

ハノイ | ベトナム
ホーチミン | ベトナム
ダナン | ベトナム
ビエンチャン | ラオス
バンコク | タイ
ダッカ | バングラディッシュ
シンガポール | シンガポール
クアラルンプール | マレーシア
ヤンゴン | ミャンマー
プノンペン (スライドショー) |
カンボジア
プノンペン | カンボジア
ジャカルタ | インドネシア
デリー・ムンバイ | インド
マニラ | フィリピン



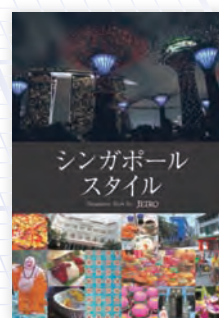
杭州
中国



ビエンチャン
ラオス



大連
中国



シンガポール
シンガポール



上海
中国



ハノイ
ベトナム



長沙
中国

オセアニア

シドニー | オーストラリア
メルボルン | オーストラリア



JETRO

Astana・Almaty Style アスタナ・アルマトイスタイル

発行日：2017年2月

発行者：日本貿易振興機構（ジェトロ）

〒107-6006 東京都港区赤坂1丁目12-32

アーク森ビル（総合案内6階）

TEL.03-3582-5511

www.jetro.go.jp

制作：ジェトロ・タシケント事務所

International Business Center 107-B,
Amir Temur Street, Tashkent 100084,
UZBEKISTAN

TEL: 998-71-120-5591

編集：エイチ・アイ・エス イスタンブール



Copyright 2017 JETRO. All rights reserved

本書の一部または全部の複写（コピー）・複製・転載及び記憶媒体への入力等は著作権法上での例外を除き、禁じます。これらの許諾については、ジェトロまでご照会下さい。

【免責条項】 ジェトロは、本報告書の記載内容に関して生じた直接的、間接的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。